

2023年度 夜勤実態調査結果

概要

日本医療労働組合連合会（佐々木悦子中央執行委員長・16万3,186人）は、「2023年度夜勤実態調査」を実施しました。この調査は、医療機関で働く看護職員等の夜勤実態を全国的規模で把握するため毎年実施しているものです。2023年6月の勤務実績（335施設・2,600職場・看護職員92,442人、看護要員116,718人分）の調査結果がまとまりましたので報告致します。

※以下（ ）内数字は2022年度結果

「2交替」職場では5割の病棟で、心身に与える有害性が非常に強い「16時間以上の長時間夜勤」となっている

- ・8時間以上の長時間勤務となる「2交替」病棟の割合は、48.4%（44.9%）と昨年より増加し、過去最多となった。「16時間以上」の長時間夜勤は、「2交替」職場のうち、病棟数の50.0%（44.5%）、看護職員数の48.1%（43.1%）と、昨年度より増加している。長時間夜勤における安全面と健康面でのリスクは海外の研究からも明らかになっている。安全に健康に働き続けるには、長時間夜勤に対する労働時間規制と夜勤日数の制限が必要であり、現状の改善が急がれる。

看護師確保法・基本指針に抵触する「月9日以上（2交替では月4.5回以上）」の夜勤は、「3交替」約3割、「2交替」4割。特にICU（集中治療室）・CCU（冠疾患集中治療室）等では回数オーバーの突出が続いている

- ・「3交替」の平均夜勤日数は7.75日（7.80日）。「月9日以上」は27.5%（28.4%）。
- ・「2交替」の平均夜勤回数は4.28回（4.14回）。「月4.5回以上」は39.4%（38.2%）と昨年より増加している。
- ・重篤・重症の急性期患者を看る「ICU・CCU等」では「3交替」44.2%（45.7%）「2交替」56.2%（60.3%）ともに回数オーバーが突出しており深刻な実態が続いている。

勤務と勤務の間の時間が極端に短く、疲労が回復しない「8時間未満」の勤務間隔が4割。インターバル協定「有」は1割強にとどまり、多くの職場で協定未締結

- ・「8時間未満」と極端に短い勤務間隔は40.6%（40.6%）にも及んでいる。ILO（国際労働機関）第157号勧告の基準を満たさない、勤務間隔「12時間未満」は57.8%（56.8%）と変わらず高く、依然として、過酷な労働環境の中で日勤と夜勤を繰り返しながら勤務している看護職員が非常に多い。
- ・インターバル協定は「有」16.6%（16.3%）。「働き方改革関連法」により、勤務間インターバル制度の導入が事業主の努力義務として規定されたものの、インターバル協定を締結している職場はまだ少ない。安全に健康に働き続けるためにも、インターバル協定の締結が急がれる。

夜勤協定「有」は7割弱にとどまり、3割以上で夜勤のルールが野放し状態

- ・夜勤協定の有無は「有」66.6%（68.7%）、「無」33.4%（31.3%）と、3割以上の施設で夜勤に関するルールがないこと、さらに協定「無」の施設が増加していることは非常に深刻である。早急に夜勤協定締結に向けての議論を開始し、長時間夜勤の規制と夜勤日数の制限など、安全面と健康面に配慮した協定締結が急がれる。

I 調査概要

* () 内数字は2022年度結果

(1) 調査の目的

医療機関における看護職員などの夜勤・長時間労働の実態を把握し、増員・夜勤改善・労働時間規制など働き続けられる職場づくりに活用する。

(2) 調査時期

2023年6月～9月末。

(3) 調査対象

日本医労連加盟組合（単組、支部、分会）のある

医療機関で、24時間交替制勤務を行っている施設。

(4) 調査方法と集計方法

全国組合・都道府県医労連を通じて、加盟組合に調査表を送付し、2023年6月の勤務実績に基づいて記載したものを回収集計した。

(5) 集約の結果

回収数は、335施設（345施設）、2,600職場（2,598職場）、看護職員92,442人（93,483人）、看護要員116,718人（113,088人）を集約した。

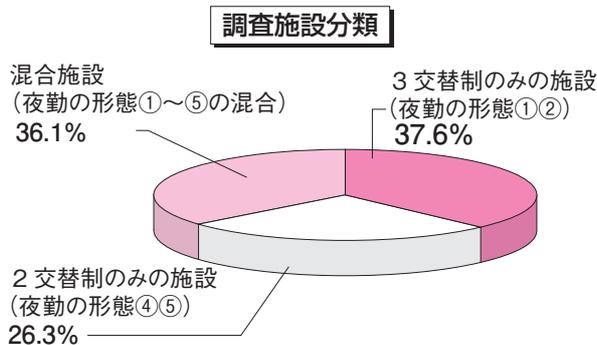
II 入院部門の調査結果

(1) 施設数、病棟数、病床数、看護職員数

335施設、2,428病棟、97,301病床、看護職員69,174人、看護要員79,459人の調査結果となった。

(2) 夜勤形態別・施設数

「3交替」のみが126施設37.6%（133施設38.7%）、「2交替」のみが88施設26.3%（79施設23.0%）、3交替と2交替の勤務が混在する「混合」が121施設36.1%（132施設38.4%）だった。



(3) 夜勤形態別の病棟数

「3交替」1,136病棟46.8%（1,228病棟50.5%）、「2交替」1,051病棟43.3%（956病棟39.3%）、「混合」241病棟9.9%（247病棟10.2%）だった。

(4) 夜勤形態別の病床数

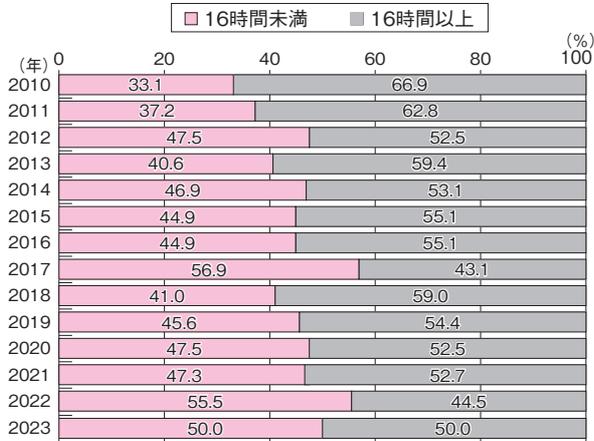
「3交替」が47,557床48.9%（51,137床52.3%）、「2交替」が39,969床41.1%（36,684床37.5%）、「混合」が9,775床10.0%（9,980床10.2%）だった。

(5) 夜勤形態別の看護職員数

「3交替」は看護職員31,849人46.0%（33,944人49.7%）、看護要員36,754人46.3%（39,344人50.2%）。「2交替」は看護職員30,064人43.5%（26,913人39.4%）、看護要員34,524人43.4%（30,565人39.0%）。「混合」は看護職員7,261人10.5%（7,381人10.8%）、看護要員8,181人10.3%（8,508人10.8%）だった。「2交替」職場のうち、病棟数の50.0%（44.5%）、病床数の47.8%（43.1%）、看護職員数の48.1%

(43.0%)、看護要員数の48.8% (43.8%) で「16時間以上」の長時間夜勤を行っている。

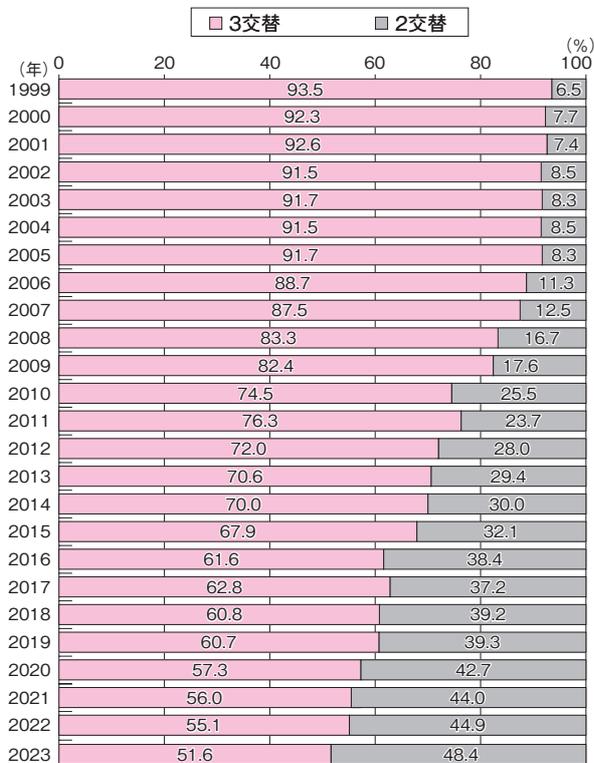
2交替病棟の16時間以上の推移



(6) 夜勤形態別の職場数経年推移

2006年以降、「2交替」長時間夜勤が増え、「2交替」病棟の割合は年々増加し、今回の調査では48.4% (44.9%) と、過去最多となった。

2交替病棟の推移

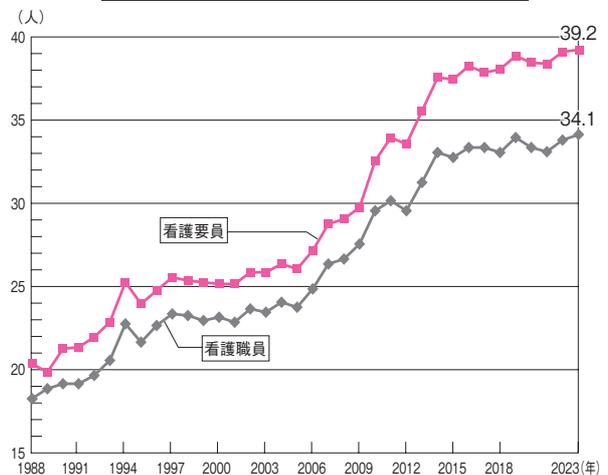


(7) 看護職員の配置

「3交替」職場の看護職員数は50床当たり平均34.1人 (33.8人)、看護要員数は39.2人 (39.1人) だった。看護職員数・看護要員ともに2021年以降、微増が続き、過去最高となっている。

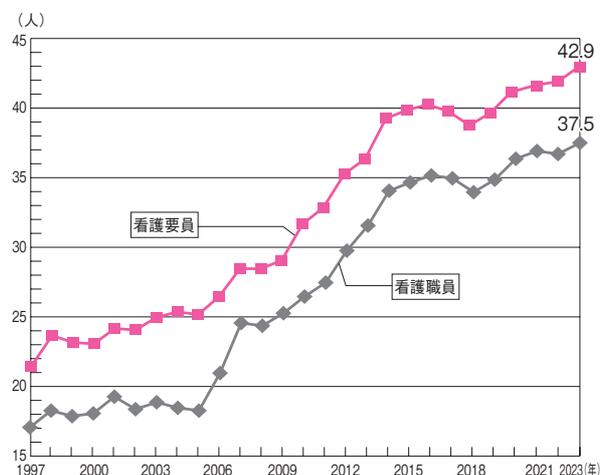
「3交替 (正循環)」の看護職員数は50床当たり平均31.2人 (33.4人)、看護要員数は36.2人 (38.2人) だった。「3交替 (正循環以外)」の看護職員数は50床当たり平均30.0人 (30.3人)、看護要員数は35.5人 (35.6人) だった。

50床当たり看護職員数の推移(3交替)



「2交替」職場の看護職員数は50床当たり平均37.5人 (36.7人)、看護要員数は42.9人 (41.9人) だった。看護職員数・看護要員数ともにここ数年は増加傾向にある。

50床当たり看護職員数の推移(2交替)

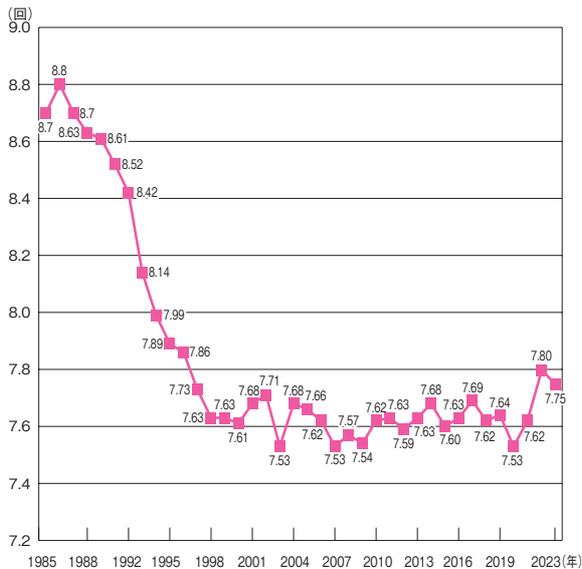


(8) 「3交替」の夜勤実態

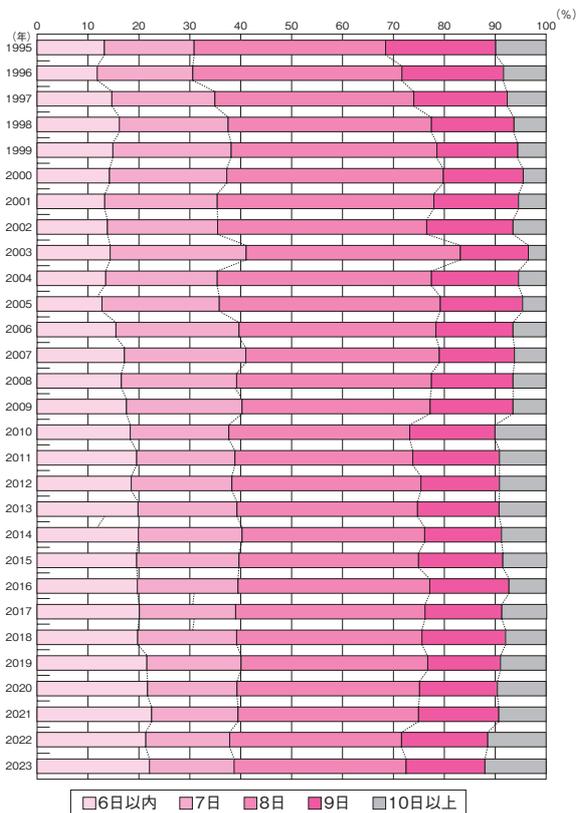
平均夜勤日数は7.75日（7.80日）だった。

また、「正循環」と「正循環以外」でみると「3交替（正循環）」7.98日（7.77日）、「3交替（正循環以外）」7.42日（7.50日）だった。

1カ月あたりの平均夜勤日数(3交替)



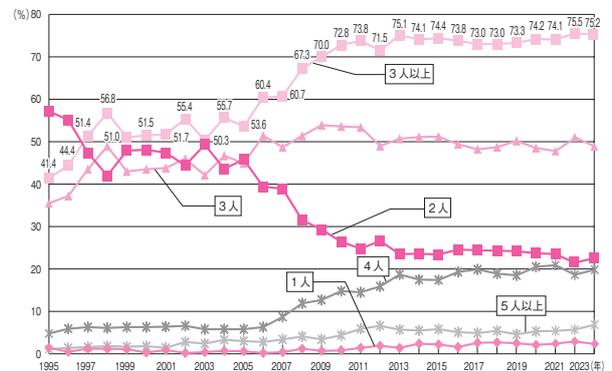
平均夜勤日数の推移(3交替)



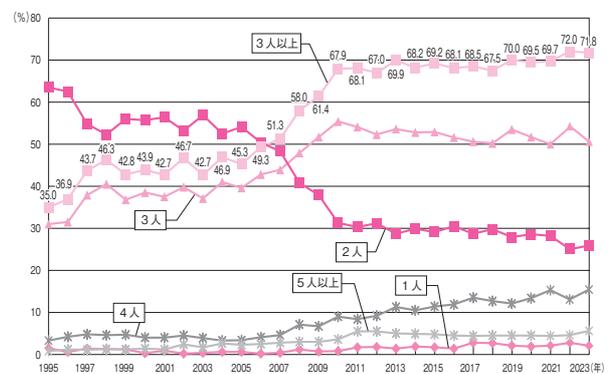
1カ月「8日以内」の夜勤日数に収まっている看護職員は72.5%（71.6%）で、昨年よりは改善したもののコロナ禍以前にまでは戻っていない。看護師確保法・基本指針に抵触する「9日以上」の夜勤を行っている看護職員は27.5%（28.4%）おり、3割近い看護職員が「9日以上」の夜勤に従事している。特に「ICU・CCU等」では「9日以上」44.2%（45.7%）と回数オーバーの突出が続いており、「急性期一般」32.1%（33.8%）、「回復期リハ」29.6%（32.8%）、「地域包括ケア」26.7%（30.7%）も多かった。

夜勤体制をみると「3人以上」は、「準夜勤」75.2%（75.5%）、「深夜勤」71.8%（72.0%）。入院基本料「7対1」が新設され、看護師の配置数が増加し始めた2006年以降は、「準夜勤」「深夜勤」とともに「3人以上」の割合が増え、現在はその割合が維持されている。一方で、安全上も問題の大きい「1人夜勤」は、「準夜勤」2.3%（2.9%）、「深夜勤」2.2%（2.9%）だった。

準夜勤人数(3交替)



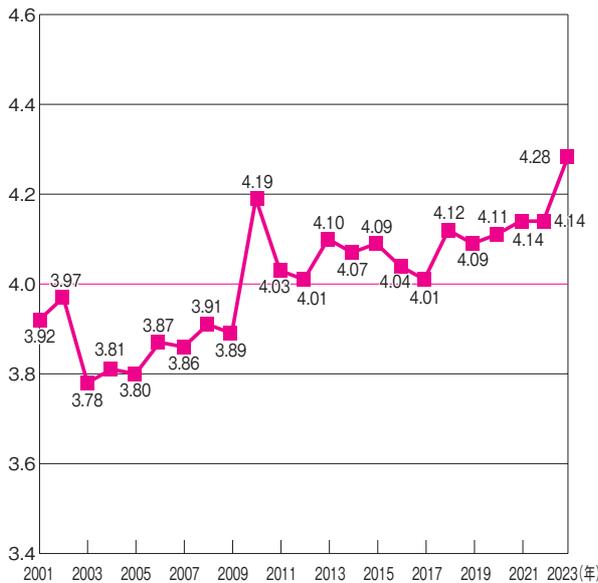
深夜勤人数(3交替)



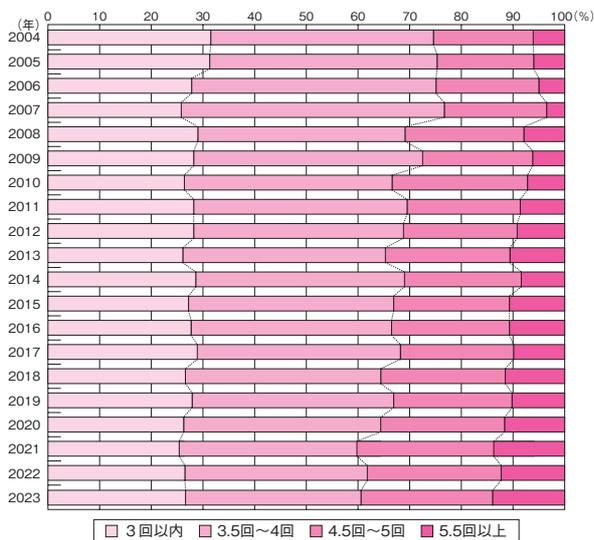
(9) 「2交替」の夜勤実態

平均夜勤回数は4.28回（4.14回）だった。平均夜勤回数の経年比較では、2010年以降、平均4回を超える結果が続いており、過去最多となった。

1カ月あたりの平均夜勤回数(2交替)



平均夜勤回数の推移(2交替)



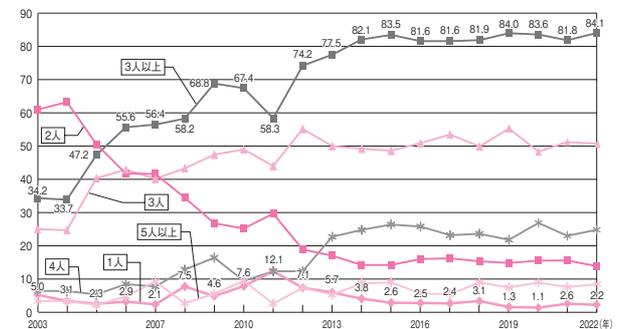
1カ月「4回以内」の夜勤回数に収まっている看護職員は60.6%（61.8%）と悪化し、「4.5回以上」39.4%（38.2%）だった。「3交替」同様、「ICU・CCU等」は「4.5回以上」56.2%（60.3%）と回数オーバーの突出が続いており、「療養病棟」42.0%

（30.2%）、「急性期一般」38.2%（39.3%）、「地域包括ケア」37.5%（42.1%）も多かった。

「16時間未満」と「16時間以上」の平均夜勤回数の比較では「16時間未満」が4.19回（4.22回）、「16時間以上」は4.00回（3.94回）だった。

夜勤体制をみると「3人以上」は、84.1%（81.8%）。2015年以降は80%を超える結果で維持されている。一方で、「2交替」の長時間夜勤において、「1人夜勤」が2.2%（2.6%）あることは、安全面でも深刻な問題であり、労働者の健康を守るうえでも改善が必要な課題である。

夜勤人数(2交替)



(10) 夜勤専門看護師

夜勤専門看護師が看護職員に占める割合は、「3交替」0.6%（0.5%）、「混合」1.6%（1.1%）、「2交替16時間未満」で1.1%（1.2%）、「2交替16時間以上」1.0%（1.1%）、全体で0.9%（0.8%）だった。

病棟における夜勤専門看護師の割合は、「3交替」10.6%（9.0%）、「混合」25.3%（19.8%）、「2交替16時間未満」16.2%（19.4%）、「2交替16時間以上」18.1%（17.4%）、全体で14.9%（13.8%）だった。「混合」については、一昨年は27.1%であった。

(11) 夜勤体制別病床数による夜勤配置人数

2007年に採択された国会請願「看護職員の配置基準を夜勤は患者10人に看護師1人以上」を基本としてみると、3交替「準夜勤」の「30～39床・3人配置以上」67.0% (67.9%)、「40～49床・4人以上配置」24.1% (22.4%)。3交替「深夜勤」の「30～39床・3人配置以上」64.9% (64.1%)、「40～49床・4人以上配置」18.7% (13.3%)。「2交替」の「30～39床・3人配置以上」83.3% (67.6%)、「40～49床・4人以上配置」28.7% (24.4%)という結果だった。

(12) シフトの数

「3交替」でシフト3個と回答したのは「正循環」57.2% (62.5%)、「正循環以外」36.0% (32.2%)。「2交替」でシフトが2個と回答したのは「16時間未満」3.8% (8.2%)、「16時間以上」26.1% (25.7%)だった。

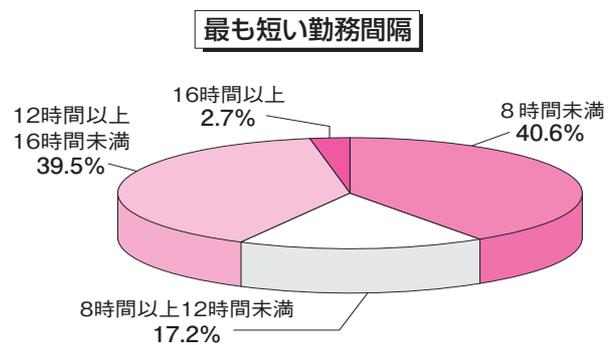
最大シフト数は、「3交替（正循環）」9個、「3交替（正循環以外）」13個、「2交替（16時間未満）」16個、「2交替（16時間以上）」9個、「混合」25個だった。

人手不足を補うために、時差勤務でシフト数を増やし、必要な時間帯に看護師等を数人増やしながる体制の維持・管理をしていることが推測できる。

(13) 勤務間隔

最も短い勤務間隔(勤務から次の勤務までの間隔)は、「8時間未満」40.6% (40.6%)、「8時間以上12時間未満」17.2% (16.2%)、「12時間以上16時間未満」39.5% (40.2%)だった。

ILO (国際労働機関) 第157号勧告の基準を満たさない「12時間未満」の短い勤務間隔は57.8% (56.8%)と多くを占め、勤務間隔「16時間以上」は、わずか2.7% (3.0%)だった。



(14) 妊産婦数・休業者数などの割合

看護職員では、妊娠者1.4% (1.4%)、産休者1.1% (1.0%)、育休者3.8% (3.4%)。育児短時間取得は4.2% (3.5%)、介護休業取得0.1% (0.1%)、長期の病欠者は0.9% (0.7%)だった。

Ⅲ 外来・手術室の夜勤実態

(1) 外来

有効回答数は128職場で、「3交替」22職場17.2% (32職場25.4%)、「混合」10職場7.8% (10職場7.9%)、「2交替 (16時間未満)」23職場18.0% (26職場20.6%)、「2交替 (16時間以上)」29職場22.7% (26職場20.6%)、「当直・2交替」8職場6.2% (8職場6.3%)、「当直」36職場28.1% (24職場19.0%) だった。

夜勤回数は、「3交替 (正循環)」8日以内58.2% (49.5%)、「3交替 (正循環以外)」8日以内76.8% (75.5%)、「2交替 (16時間未満)」4回以内84.6% (83.7%)、「2交替 (16時間以上)」4回以内82.6% (83.9%)、「当直・2交替」4回以内96.5% (98.8%)、「当直」の4回以内94.9% (93.1%) だった。

平均夜勤回数は、「3交替 (正循環)」7.87日 (8.09日)、「3交替 (正循環以外)」6.88日 (6.49日)、「混

合」6.03回 (4.62回)、「2交替 (16時間未満)」3.44回 (3.24回)、「2交替 (16時間以上)」3.36回 (3.27回)、「当直・2交替」2.90回 (3.36回)、「当直」4.22回 (3.97回) だった。

1人夜勤は、「3交替・準夜勤」で23.3% (31.6%)、「3交替・深夜勤」で40.0% (36.4%)、「2交替」で36.2% (34.4%)、「当直」では78.9% (69.0%) だった。

(2) 手術室

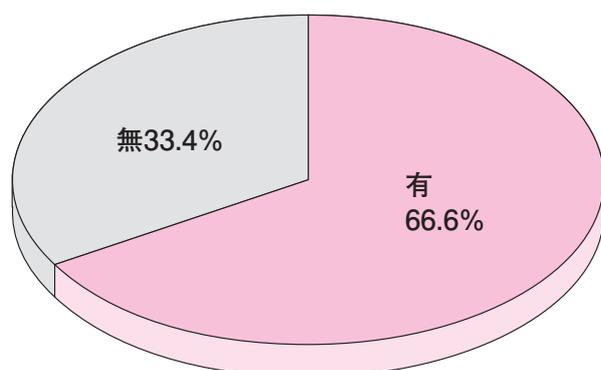
有効回答数は41職場で、「3交替 (正循環)」4.9% (5.4%)、「3交替 (正循環以外)」2.4% (16.2%)、「混合」9.8% (10.8%)、「2交替 (16時間未満)」24.4% (24.3%)、「2交替 (16時間以上)」31.7% (24.3%)、「当直・2交替」2.4% (2.7%)、「当直」24.4% (16.2%) だった。

Ⅳ 基礎項目等の結果

(1) 夜勤協定の状況

夜勤協定の有無は「有」66.6% (68.7%)、「無」33.4% (31.3%) だった。3割以上の施設で夜勤に関するルールがなく、さらに昨年度より2.1ポイント増えたことは非常に深刻な問題である。

夜勤協定の有無



(2) インターバル協定の有無

インターバル協定が「有」は16.6% (16.3%)。「働き方改革関連法」により、勤務間インターバル制度の導入が事業主の努力義務として規定されたものの、インターバル協定を締結しているところは1割強とまだまだ少ない状況のままである。

インターバル協定の勤務間隔では、「12時間以上」が53.5% (65.9%) と多く、「12時間未満」は46.5% (34.1%) だった。

V 長時間労働規制・夜勤改善に向けて

人間の生体リズムに反した夜間労働、特に長時間夜勤については、心身に与える有害性が科学的にも明らかになっています。健康リスクとしては、短期的には慢性疲労や感情障害、中期的には循環器疾患や糖尿病、長期的には発がん性（乳がん、前立腺がん）が指摘され、安全面においても、夜勤や長時間労働の作業は、酒気帯び運転と同等以上のリスクがあると指摘されています。さらに、勤務シフトの数が十数種類にも及ぶ、非常に不規則な勤務環境が負担をより増大させています。

しかしながら、医療機関では、夜勤・交替制勤務は避けられません。よって、長時間に及ぶ夜勤や短すぎる勤務間隔については、その改善や規制が強く求められます。諸外国では、ILO（国際労働機関）「夜業条約（第171号）」やEU（欧州連合）の「労働時間指令」などに基づいた規制が行われ、「有害業務」である夜間勤務から労働者の健康と生活を保護しています。ILO「看護職員の雇用と労働および生活条件に関する勧告（第157号）」では、「1日の労働時間は8時間以内」「時間外を含めても12時間以内」「勤務と勤務の間に少なくとも連続12時間以上の休息期間を与えなければならない」などを定めています。日本でも諸外国並みの保護措置をとり、労働者が働き続けられる環境整備が必要です。

■過酷な長時間労働の実態と勤務間隔の短さ

「2023年度夜勤実態調査」結果は、「2交替」病棟の割合が48.4%と昨年より増加し、過去最多となりました。「16時間以上」の長時間夜勤は「2交替」職場のうち、病棟数の50.0%、看護職員数の48.1%と昨年を上回りました。また、国際基準であるILO第157号勧告で規制されている「勤務間の休息期間」を満たさない「12時間未満」の短い勤務間隔は57.8%。さらに、勤務を終えて帰宅後に身の回りのことをするだけで睡眠時間がほとんどとれない「8時間未満」の勤務間隔は40.6%という結果でした。

患者のいのちを預かる看護職員の多くが、依然として過酷な労働環境の中で勤務している実態が続いており、日本医労連がめざす労働環境の改善には至っていません。インターバル協定「有」は16.6%にとどまっており、多くのところで未締結となっています。安全に健康に働き続けるためにも、インターバル協定の締結が急がれます。患者の安全を守るため、そして、働く私たちの健康を守るためにも実効ある規制が必要です。この過酷な労働環境を打開するために、看護職員自らがしっかりと声をあげることが求められています。

■減らない夜勤日数、増える夜勤専門看護師

人事院は1965年、看護師の夜勤制限の必要性を認め、「夜勤は月平均8日以内」「1人夜勤禁止」など

の「判定」を出しました。その後、1992年の「看護師等の人材確保の促進に関する法律」（以下、看護師確保法）基本指針では、離職防止対策として夜勤負担の軽減をあげ、「複数・月8日以内の夜勤体制の構築」を位置づけました。2007年には参議院本会議で私たちが取り組んできた「安全・安心の医療と看護の実現を求める増員署名」の請願が全会一致で採択されました。採択された請願事項は、①医師・看護師など医療従事者を大幅に増員すること、②看護職員の配置基準を夜間は患者10人に対して1人以上、日勤時は患者4人に対して1人以上とするなど抜本的に改善すること、③夜勤日数を月8日以内に規制するなど「看護師確保法」等を改正すること、の3項目でした。しかし、これらのことは慢性的な人員不足により、今もなお、順守されていません。

今回の調査でも、「月9日以上（2交替では月4.5回以上）」の夜勤日数が目立ちました。「3交替」職場の平均夜勤日数は7.75日で、3割近い看護職員が月9日以上夜勤に従事しています。「2交替」職場の平均夜勤回数は4.28回で、4割の看護職員が月4.5回以上の夜勤に従事しています。また、今回の調査でも「3交替」「2交替」とともに、「ICU・CCU等」での夜勤回数オーバーが突出しています。重篤・重症の急性期患者の容態を24時間管理する集中治療室の職場で、安全・安心の医療提供体制や看護職員の健康被害が危惧される事態が続いています。

病棟における「夜勤専門看護師」の割合は14.9%で、ここ数年1割超えが続いています。夜勤人員の不足が続くなかで、夜勤専門看護師に頼らなければ夜勤体制の維持・管理ができない状況が推察できます。

また、心身に負担の少ない「正循環」は「正循環以外」より、50床当たりの看護職員数が1人多く配置されていました。生体リズムにより近づけて、健康に働き続けるためには、看護職員の増員が必要不可欠であるといえます。

「夜勤協定」の有無では、「有」66.6%、「無」33.4%と協定「無」の施設が昨年より増加しています。労働者を守るためにすべての組織で「夜勤協定」を締結し、順守させることが今求められています。日本医労連が作成した「夜勤協定の手引き」のリーフや学習資料などで学習を進めることが重要です。

■制度や通知を活用して職場改善を

医療の現場は、患者の高齢化・重症化に加え、高度化・複雑化・IT化などにより、看護師等の労働環境は一層過密で過酷な状況に追い込まれています。あまりにも業務が複雑で、看護の基本である患者個人の尊重や個性を大事にするということに時間がさげず、その結果、疲弊し、退職をするという負のスパイラルに陥っています。

厚生労働省は2011年の「5局長通知」のなかで「看護師等は、厳しい勤務環境に置かれている方も多く、特にその多くが夜勤を含む交代制を伴う病院勤務の看護師等であり『雇用の質』の向上が喫緊の課題」としました。また、2013年の「6局長通知」では、「国民が将来に渡り質の高い医療サービスを受けるためには、医療分野の『雇用の質』の向上を通じ、医療スタッフが健康で安心して働くことができる環境整備を促進することで、医療に携わる人材の定着・育成を図ることが必要不可欠」としています。

2014年の医療法改正では「医療従事者の勤務環境改善」が位置づけられ、全都道府県に「医療勤務環境改善支援センター」が設置されました。厚生労働省は2015年から「病院等の勤務環境に関するアンケート調査」を継続して実施し、2016年の診療報酬改定では「夜間看護体制の充実に対する評価」を出しました。また、2017年1月には「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」を発出しました。このガイドラインでは、使用者は「適正な労働時間管理を行なう責務がある」と

し、労働を余儀なくさせるような黙示の指示による場合も「労働時間」として取り扱うことを明記しました。具体的には、①業務に必要な準備行為や後始末、②指示があった場合に即時業務に従事することが求められる待機時間、③実質的に参加が義務付けられている研修・教育訓練の受講や、使用者の指示により業務に必要な学習時間等も「労働時間」としています。

また、2018年6月に成立した「働き方改革関連法」では、「時間外・休日労働の上限規制」導入、「労働時間の状況」把握義務、「勤務間インターバル」制度設定の努力義務、「年次有給休暇」5日付与の義務等が位置付けられました。これらの制度や通知等は、私たちが厳しい現場実態を国民に知らせ、世論形成し、政府・厚労省に実態を訴え続けた成果ともいえます。積極的に活用し、勤務環境改善につなげることが求められます。

■私たちの要求を実現するために

「目を見て看護したい」「患者さんの話をゆっくり聞きたい」「1日に何回も『ちょっと待って』と言わないで手を止めて患者さんと向き合いたい」「ただただ業務をこなすだけなんて嫌」——これは、看護現場から寄せられた声の一部です。日本医労連では、2022年2月～5月を集約期間として、看護職員から「やりたい看護」の声を集める取り組みを行いました。

看護現場では、新型コロナの感染拡大前から常態化する人手不足によって、長時間労働や月8回を超える夜勤、勤務間隔8時間未満が4割超えなど、厳しい働き方を余儀なくされてきました。そして今、コロナ禍でさらに働き方が過酷になり、退職者も増え、人手不足に拍車がかかっています。多くの看護職員は、慢性的な人手不足と過酷な働き方によって本当はやりたいと思う看護があってもそれができずに悔しい思いをしています。寄せられた1,163人分の看護職員の声は、その実情がとてもよく分かる内容でした。

2023年4月に日本医労連が実施した「看護職員の入退職に関する実態調査」結果（175施設分を集約）では、2021年度と比較して37.1%が「退職者が増えた」と回答し、3月までの退職者数を4月の入職者数で補充できた医療機関は30.1%にとどまっています。

5年ぶりに取り組んだ「2022年看護職員の労働実態調査」結果（約3万6,000人分を集約）では、仕事を辞めたいと「いつも思う」と「ときどき思う」の合計は79.2%にものぼり、その理由（3つまで選択）では、「人手不足で仕事がきつい」58.1%、「賃金が安い」42.6%、「思うように休暇が取れない」32.6%、「夜勤が辛い」23.6%と続きました。仕事をやめたいと「いつも思う」を勤務形態別にみると、「日勤のみ」17.4%であったのに対して、「3交替」25.9%、「2交替（16時間未満）」26.3%、「2交替（16時間以上）」27.3%、「夜勤専門」26.0%といずれも高く、夜勤の負担が離職の要因となっている実態が明白になりました。また、「慢性疲労」を勤務形態別でも、「日勤のみ」71.4%であったのに対して、「3交替」82.6%、「2交替（16時間未満）」78.4%、「2交替（16時間以上）」79.0%と、夜勤の負担が健康面に悪影響を及ぼしていることが見て取れる結果となりました。

患者のいのちを預かる看護職員が、自らの健康を犠牲にせざるを得ない勤務環境のなかで、患者・利用者に安全・安心の医療・看護を提供するには限界があります。ただちに看護職員の大幅増員と実効ある夜勤規制を行い、改善を図ることが必要です。

私たちは、2014年9月、ILO条約・勧告等に基づいた国際基準の勤務環境実現のために「めざすべき看護体制の提言」を発表し、全国300万人体制の

実現をめざしています（2021年6月に改訂版発出）。

しかし、厚労省が2019年10月に発表した、「看護職員需給分科会」中間とりまとめでは、2025年に必要な看護職員数の推計結果を188万人～202万人と報告しており、私たちがめざしている看護体制からは大きくかけ離れています。

今回の調査でも明らかになったように、医療の高度化や患者の重症化などに追いつかない人員体制のなかで、依然として長時間夜勤や短すぎる勤務間隔の実態は改善されず、看護職員の健康や患者の安全が脅かされる事態が続いています。根本的な問題は「人手不足」であり、問題解決には「大幅な人員増」が必要不可欠です。少ない人員のまま、勤務シフトを増やす・変えるなどしても、何ら改善にはつながらないことが改めて明らかになった調査結果といえます。夜勤は、労働条件の根幹にかかわる問題です。看護職員の労働環境改善は、看護の質の向上に直結するとともに、患者・利用者の安全と個人の尊厳を守ることに繋がります。

日本医労連は、2022年秋から大幅増員と夜勤改善などを求めた新署名「安全・安心の医療・介護実現のため、医師・看護師・介護職員の大幅増員を求める国会請願署名」に取り組んでいます。より多くの患者・国民のみなさんにも支援を呼びかけながら、国に対して抜本的な改善を図ることを強く求めます。

【長時間労働・夜勤規制に関する提言】

2010年1月19日

日本医療労働組合連合会

- ① 1日の所定内労働時間は、8時間以内にすべきである。
- ② 1日の労働時間は、時間外を含めて12時間を超えてはならない。
- ③ 交替勤務では、次の交替勤務まで、連続16時間以上（少なくとも連続12時間以上）の休息を与えねばならない。
- ④ 夜勤は、月64時間を超えるべきでない。
- ⑤ 夜勤時の配置人員は、患者（利用者）10人に1人以上とすべきである。
- ⑥ 人員配置は、少なくとも年次有給休暇の完全取得を前提とすべきである。
- ⑦ 交替制勤務者には、年齢を問わず、乳がん・前立腺がんの定期検診を義務付けなければならない。

※「べきである」は「原則」であり、「ならない」は禁止事項

※健診とは総合的な健康診断、検診とは特定の病気かどうかの診察

看護職員の雇用、労働条件及び生活状態に関する条約（ILO 第149号）から抜粋

第六 条

看護職員は、次の分野において当該国の他の労働者の条件と同等の又はそれ以上の条件を享受する。

(a) 労働時間（超過勤務、不便な時間及び交替制による労働に関する規制及び補償を含む。）

(b) 週休

(c) 年次有給休暇

(d) 教育休暇

(e) 出産休暇

(f) 病欠休暇

(g) 社会保障

看護職員の雇用、労働条件及び生活状態に関する勧告（ILO 第157号）から抜粋

VIII 作業時間及び休息期間

31 看護職員の作業を編成するために必要な時間、指示を受け及び伝達するために必要な時間等看護職員が使用者によつて自由に使用され得る時間は、呼出し待機に関するありうる特別規定に従うことを条件として、看護職員の作業時間として計算されるべきである。

32(1) 看護職員の通常の週労働時間は、当該国の一般労働者について定められている労働時間を上回るべきではない。

(2) 一般労働者の通常の週労働時間が四十時間を超える場合には、一九六二年の労働時間短縮勧告9の規定に従つて、看護職員のために給料を減少させることなく労働時間を漸進的にしかしできる限り速やかに週四十時間の水準にまで短縮するための措置がとられるべきである。

33(1) 一日当たりの通常の労働時間は、弾力的な作業時間又は週労働日数の短縮に関する措置が法令、労働協約、就業規則又は仲裁裁定によつてとられる場合を除くほか、継続的であるべきであり、かつ、八時間を超えるべきではない。いかなる場合にも、通常の週労働時間は、32(1)に規定する限度内にとどめられるべきである。

(2) 一日の労働時間（超過勤務を含む。）は、十二時間を超えるべきではない。

(3) この33の規定に対する一時的な例外は、特別な緊急の場合にのみ認められるべきである。

34(1) 合理的な長さの食事時間が与えられるべきで

ある。

(2) 通常の労働時間に含まれる合理的な長さの休憩時間が与えられるべきである。

35 作業時間表は、看護職員がその個人生活及び家族生活をそれに応じて組織し得るようにするため、看護職員に充分事前に予告されるべきである。この作業時間表に対する例外は、特別な緊急の場合にのみ認められるべきである。

36(1) 看護職員が四十八時間未満の継続する週休を受ける権利を有する場合には、看護職員の週休を四十八時間の水準にまで引き上げるための措置がとられるべきである。

(2) 看護職員の週休は、いかなる場合にも、継続する三十六時間を下回るべきではない。

37(1) 超過勤務、不便な時間における労働及び呼出し待機を用いることは、できる限り少なくすべきである。

(2) 超過勤務及び公の休日における労働に対しては、代休が与えられるべきであり及び（又は）通常の賃金率よりも高い率で賃金が支払われるべきである。

(3) 公の休日以外の不便な時間における労働は、給料への追加によつて補償されるべきである。

38(1) 交替制による労働は、国内における他の雇用に係る交替制による労働について適用される報酬の増加を下回らない報酬の増加によつて補償されるべきである。

(2) 交替制による労働に従事する看護職員は、交替時間と次の交替時間との間に少なくとも十二時間の継続する休息期間を享受すべきである。

(3) 無給の時間帯によつて分断される一回の交替勤務時間（分割された交替勤務時間）は、避けられるべきである。

39(1) 看護職員は、国内の他の労働者と少なくとも同じ長さの年次有給休暇を受ける権利を有すべきであり、かつ、そのような休暇をとることを要求されるべきである。

(2) 年次有給休暇の長さが一年の勤務につき四週間未満である場合には、看護職員のために休暇の長さを漸進的にしかしできる限り速やかに四週間の水準にまで引き上げるための措置がとられるべきである。

40 特に困難な又は不快な条件の下で労働する看護職員は、報酬総額の減少を伴うことなく、労働時間の短縮及び（又は）休息期間の増加を享受すべきである。

2023年度 夜勤実態調査実施資料

都道府県別調査施設数と人数

都道府県	全 体				全国組合を除く			
	施設数	職場数	看護職員 総数(人)	看護要員 総数(人)	施設数	職場数	看護職員 総数(人)	看護要員 総数(人)
北海道	22	145	4,961	5,755	5	21	683	726
青森	6	37	1,155	1,358	4	26	793	959
秋田	9	50	1,410	1,782	5	27	734	875
岩手	17	124	4,821	6,593	16	119	4,607	6,298
山形	11	71	2,354	4,006	11	71	2,354	4,006
宮城	5	28	702	806	4	19	487	591
福島	9	58	1,652	2,045	2	24	494	658
千葉	4	35	1,397	1,992				
埼玉	4	31	1,279	1,542				
群馬	4	36	1,314	2,004	2	12	396	690
栃木	1	7	173	328				
茨城	9	82	2,642	2,823	1	2	53	63
山梨	1	7	251	380				
長野	15	137	3,605	4,608	4	24	809	1,068
新潟	7	44	1,725	2,443	4	24	989	1,430
東京	18	217	8,182	9,233	11	122	4,557	5,330
神奈川	5	81	3,086	3,596	2	42	1,714	2,008
愛知	14	158	7,104	7,763	6	85	4,065	4,520
静岡	11	69	2,187	2,885	1	6	165	211
岐阜	7	43	1,483	1,941				
三重	11	87	2,373	3,672				
富山	4	19	958	1,116	1	3	62	111
石川	9	57	1,956	2,292	5	31	843	1,050
大阪	4	67	2,707	3,559	1	11	494	572
京都	4	10	286	334	4	10	286	334
兵庫	2	22	899	1,560				
奈良	1	6	164	164				
和歌山	5	29	1,130	1,558	2	9	232	278
福井	1	4	38	55				
滋賀	1	3	93	93				
岡山	11	64	2,093	3,462	7	35	1,132	1,712
広島	15	147	5,854	7,759	5	48	1,978	2,456
山口	6	44	1,920	2,160				
鳥取	2	16	555	602				
島根	3	29	985	1,078				
香川	5	37	1,413	1,477	2	6	189	230
愛媛	12	52	1,404	1,693	9	31	732	1,009
徳島	7	34	1,286	1,613	2	11	453	676
高知	1	12	364	384				
福岡	16	170	6,131	7,585	8	93	2,898	3,441
佐賀	2	24	840	887				
長崎	6	56	1,763	2,000				
熊本	9	59	2,246	2,772	3	8	264	316
大分	5	31	1,295	1,936	1	4	120	289
宮崎	3	13	566	861				
鹿児島	4	16	554	749	3	12	436	520
沖縄	7	32	1,086	1,415	3	13	557	685
合計	335	2,600	92,442	116,718	134	949	33,576	43,112

I 実施施設

病院性格別調査施設数と人数

性格別	施設数	職場数	看護職員総数(人)	看護要員総数(人)
全医労	103	855	30,861	38,664
全厚労	62	413	15,047	18,119
全日赤	11	172	4,713	6,216
全JCHO病院労組	4	13	658	705
全労災	19	183	7,119	9,249
国共病組	1	9	215	215
公共労	1	6	253	439
公的病院	4	30	1,441	2,002
自治体	39	260	10,140	13,896
大学	9	251	9,854	10,809
民医連・医療生協	68	311	9,400	12,832
地場一般病院	8	66	2,093	2,513
地場精神病院	6	31	648	1,060
合計	335	2,600	92,442	116,718

※看護職員とは、看護師・准看護師・保健師・助産師の総称として使用
 ※看護要員は、看護職員に補助者等を含めた総称として使用

調査職場数

	職場数
病棟	2,428
外来	128
手術室	41
透析	3
合計	2,600

区別別職場数(病棟のみ)

	職場数
①ICU・CCU等	259
②急性期一般	1,227
③地域一般	97
④地域包括ケア	110
⑤回復期リハビリテーション	65
⑥療養病棟	85
⑦精神	144
⑧その他	296
無回答	145
合計	2,428

II - 1 夜勤日数別の人数と割合（3交替病棟）

年度	(人)					(%)					
	6日以内	7日	8日	9日	10日以上	6日以内	7日	8日	9日	10日以上	8日以内
1995	7,721	10,329	21,995	12,647	5,792	13.2	17.7	37.6	21.6	9.9	68.5
1996	5,132	8,171	17,894	8,662	3,661	11.8	18.8	41.1	19.9	8.4	71.7
1997	7,557	10,373	20,095	9,441	3,920	14.7	20.2	39.1	18.4	7.6	74.0
1998	7,456	9,880	18,462	7,512	2,908	16.1	21.4	39.9	16.3	6.3	77.5
1999	9,757	15,194	26,455	10,408	3,667	14.9	23.2	40.4	15.9	5.6	78.5
2000	9,339	15,128	27,930	10,293	2,952	14.2	23.0	42.5	15.7	4.5	79.8
2001	6,576	10,965	21,057	8,262	2,688	13.3	22.1	42.5	16.7	5.4	77.9
2002	6,599	10,321	19,567	8,100	3,105	13.8	21.6	41.0	17.0	6.5	76.5
2003	5,637	10,478	16,522	5,237	1,370	14.4	26.7	42.1	13.3	3.5	83.2
2004	5,121	8,339	16,005	6,506	2,061	13.5	21.9	42.1	17.1	5.4	77.5
2005	4,968	8,965	16,893	6,276	1,817	12.8	23.0	43.4	16.1	4.7	79.2
2006	5,891	9,204	14,735	5,770	2,485	15.5	24.2	38.7	15.2	6.5	78.3
2007	6,915	9,584	15,321	5,929	2,517	17.2	23.8	38.0	14.7	6.3	79.0
2008	7,934	10,879	18,332	7,705	3,110	16.5	22.7	38.2	16.1	6.5	77.4
2009	8,317	10,738	17,462	7,683	3,093	17.6	22.7	36.9	16.2	6.5	77.2
2010	9,925	10,529	19,275	9,084	5,470	18.3	19.4	35.5	16.7	10.1	73.2
2011	10,250	10,107	18,300	8,927	4,800	19.6	19.3	34.9	17.0	9.2	73.8
2012	9,345	10,017	18,768	7,816	4,640	18.5	19.8	37.1	15.5	9.2	75.4
2013	11,061	10,877	19,778	8,955	5,164	19.8	19.5	35.4	16.0	9.2	74.7
2014	10,887	11,143	19,541	8,229	4,818	19.9	20.4	35.8	15.1	8.8	76.1
2015	10,202	10,494	18,328	8,628	4,457	19.6	20.1	35.2	16.6	8.6	74.9
2016	9,682	9,721	18,445	7,634	3,566	19.7	19.8	37.6	15.6	7.3	77.2
2017	9,040	8,477	16,727	6,767	3,946	20.1	18.9	37.2	15.1	8.8	76.2
2018	7,904	7,715	14,496	6,530	3,182	19.8	19.4	36.4	16.4	8.0	75.6
2019	8,782	7,529	14,917	5,815	3,664	21.6	18.5	36.6	14.3	9.0	76.7
2020	8,468	6,866	13,976	5,975	3,726	21.7	17.6	35.8	15.3	9.6	75.1
2021	8,169	6,195	12,869	5,730	3,407	22.3	17.0	35.4	15.8	9.4	74.9
2022	7,144	5,538	11,288	5,666	3,865	21.3	16.5	33.7	16.9	11.5	71.6
2023	7,120	5,340	10,869	4,979	3,855	22.1	16.6	33.8	15.5	12.0	72.5

II - 2 夜勤日数別の人数と割合(3交替病棟) 職場の区分別

(人)

	病棟数	4日迄	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日以上	合計	最多夜勤日数	夜勤専門
ICU・CCU等	138	325	62	115	337	918	664	391	187	79	73	3,151	20日	40人
急性期一般	644	1,789	401	762	2,013	5,572	2,882	1,340	446	124	194	15,523	22日	146人
地域一般	57	120	49	98	255	521	110	74	12	13	11	1,263	18日	9人
地域包括ケア	63	117	43	77	188	450	199	76	22	7	15	1,194	18日	22人
回復期リハ	30	69	35	52	90	153	114	35	14	1	4	567	18日	5人
療養病棟	54	119	43	164	266	291	135	54	21	11	12	1,116	20日	6人
精神	120	211	90	242	706	978	265	126	37	22	16	2,693	18日	21人
その他	196	758	290	659	1,256	1,574	392	141	12	2	2	5,086	14日	13人
無回答	75	222	107	101	229	412	218	104	53	27	97	1,570	20日	49人
合計	1,377	3,730	1,120	2,270	5,340	10,869	4,979	2,341	804	286	424	32,163		

(%)

	4日迄	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日以上	9日以上
ICU・CCU等	10.3	2.0	3.6	10.7	29.1	21.1	12.4	5.9	2.5	2.3	44.2
急性期一般	11.5	2.6	4.9	13.0	35.9	18.6	8.6	2.9	0.8	1.2	32.1
地域一般	9.5	3.9	7.8	20.2	41.3	8.7	5.9	1.0	1.0	0.9	17.4
地域包括ケア	9.8	3.6	6.4	15.7	37.7	16.7	6.4	1.8	0.6	1.3	26.7
回復期リハ	12.2	6.2	9.2	15.9	27.0	20.1	6.2	2.5	0.2	0.7	29.6
療養病棟	10.7	3.9	14.7	23.8	26.1	12.1	4.8	1.9	1.0	1.1	20.9
精神	7.8	3.3	9.0	26.2	36.3	9.8	4.7	1.4	0.8	0.6	17.3
その他	14.9	5.7	13.0	24.7	30.9	7.7	2.8	0.2	0.0	0.0	10.8
無回答	14.1	6.8	6.4	14.6	26.2	13.9	6.6	3.4	1.7	6.2	31.8
合計	11.6	3.5	7.1	16.6	33.8	15.5	7.3	2.5	0.9	1.3	27.5

II - 3 夜勤日数別の人数と割合(3交替病棟) 組合性格別

(%)

	病棟数	6日以内	7日	8日	9日	10日以上	8日以内
全医労	477	28.6	25.4	35.5	8.5	2.0	89.5
全厚労	135	17.2	10.4	35.9	16.9	19.5	63.5
全日赤	40	28.6	12.5	19.3	12.0	27.6	60.4
全JCHO病院労組	4	31.5	11.1	18.5	20.4	18.5	61.1
全労災	165	13.1	11.1	46.5	19.5	9.7	70.8
国共病組	8	22.5	8.1	28.1	13.1	28.1	58.8
公共労	5	20.6	12.8	26.2	26.2	14.2	59.6
公的病院	21	14.0	20.9	46.7	14.5	3.9	81.6
自治体	180	19.1	16.3	35.1	17.6	11.9	70.5
大学	93	19.0	5.0	16.8	27.9	31.3	40.8
民医連・医療生協	206	21.4	10.1	26.1	21.6	20.9	57.5
地場一般病院	13	41.0	13.2	20.8	11.8	13.2	75.0
地場精神病院	30	19.7	19.7	34.3	10.1	16.1	73.8
合計	1,377	22.1	16.6	33.8	15.5	12.0	72.5

II - 4 平均夜勤日数(3交替病棟)

年 度	平均日数(日)	組合性格別			
1991	8.52				
1992	8.42				
1993	8.14				
1994	7.99				
1995	7.89				
1996	7.86				
1997	7.73				
1998	7.63				
1999	7.63				
2000	7.61				
2001	7.68				
2002	7.71				
2003	7.53				
2004	7.68				
2005	7.66				
2006	7.62				
2007	7.53				
2008	7.57				
2009	7.54				
2010	7.62				
2011	7.63				
2012	7.59				
2013	7.63				
2014	7.68				
2015	7.60				
2016	7.63				
2017	7.69				
2018	7.62				
2019	7.64				
2020	7.53				
2021	7.62				
2022	7.80				
2023	7.75				

組合	病棟数	夜勤人数(人)	平均日数(日)
全医労	477	11,470	6.99
全厚労	135	3,040	8.10
全日赤	40	858	7.89
全JCHO病院労組	4	54	7.30
全労災	165	4,195	7.87
国共病組	8	160	8.02
公的病院	21	516	7.56
自治体	180	4,209	7.72
大学	93	2,480	8.30
民医連・医療生協	206	4,202	8.01
地場一般病院	13	144	7.15
地場精神病院	30	694	7.77
合計／平均	1,377	32,163	7.75

夜勤形態別月平均夜勤日数(3交替) (日)

① 3交替(正循環)	7.98
② 3交替(正循環以外)	7.42

II - 5 準夜勤の体制(3交替病棟)

年 度	準夜勤人数 (%)						準夜勤人数		
	1人	2人	3人	4人	5人以上	3人以上	準夜勤人数	病棟数	割合(%)
1996	0.5	55.1	37.2	5.9	1.4	44.4	1人	30	2.3
1997	1.2	47.4	43.5	6.3	1.6	51.4	2人	292	22.4
1998	1.2	42.0	48.9	6.1	1.8	56.8	3人	633	48.7
1999	1.1	47.9	43.0	6.3	1.7	51.0	4人	258	19.8
2000	0.3	48.1	43.5	6.3	1.8	51.5	5人	61	4.7
2001	0.9	47.4	43.8	6.4	1.4	51.7	6人	16	1.2
2002	0.2	44.4	46.0	6.6	2.8	55.4	7人	7	0.5
2003	0.4	49.3	42.1	5.8	2.4	50.3	8人	2	0.2
2004	0.7	43.6	46.7	5.8	3.3	55.7	9人		
2005	0.6	45.8	44.9	5.8	3.0	53.6	10人以上	2	0.2
2006	0.2	39.4	51.4	6.3	2.8	60.4	合計	1,301	100.0
2007	0.4	38.9	48.7	8.7	3.4	60.7			
2008	1.2	31.5	51.4	11.9	4.1	67.3			
2009	0.7	29.3	53.9	12.7	3.4	70.0			
2010	0.8	26.4	53.6	14.8	4.4	72.8			
2011	1.4	24.8	53.4	14.5	5.9	73.8			
2012	1.9	26.6	49.0	15.9	6.6	71.5			
2013	1.4	23.5	50.7	18.7	5.7	75.1			
2014	2.4	23.6	51.1	17.5	5.5	74.1			
2015	2.2	23.4	51.2	17.4	5.8	74.4			
2016	1.6	24.6	49.4	19.3	5.1	73.8			
2017	2.6	24.4	48.2	19.9	4.9	73.0			
2018	2.7	24.3	48.7	18.9	5.4	73.0			
2019	2.5	24.2	50.2	18.5	4.6	73.3			
2020	2.1	23.7	48.5	20.5	5.3	74.2			
2021	2.4	23.5	47.8	20.9	5.4	74.1			
2022	2.9	21.6	51.1	18.9	5.5	75.5			
2023	2.3	22.4	48.7	19.8	6.8	75.2			

II - 6 深夜勤の体制（3交替病棟）

年 度	深夜勤人数 (%)						深夜勤人数		
	1人	2人	3人	4人	5人以上	3人以上	深夜人数	病棟数	割合 (%)
1996	0.6	62.5	31.5	4.2	1.2	36.9	1人	28	2.2
1997	1.4	54.8	37.9	4.8	1.1	43.7	2人	336	26.0
1998	1.3	52.3	40.5	4.6	1.3	46.3	3人	654	50.6
1999	1.2	56.0	36.8	4.7	1.2	42.8	4人	200	15.5
2000	0.3	55.7	38.5	4.0	1.4	43.9	5人	50	3.9
2001	0.9	56.4	37.5	4.0	1.2	42.7	6人	12	0.9
2002	0.2	53.2	39.8	4.5	2.4	46.7	7人	8	0.6
2003	0.4	56.9	37.1	3.9	1.7	42.7	8人	2	0.2
2004	0.6	52.5	41.0	3.3	2.6	46.9	9人		
2005	0.6	54.1	39.6	3.4	2.3	45.3	10人以上	2	0.2
2006	0.2	50.4	42.8	4.1	2.5	49.3	合計	1,292	100.0
2007	0.4	48.3	43.9	4.6	2.8	51.3			
2008	1.2	40.8	47.9	7.1	3.0	58.0			
2009	0.7	37.9	51.7	6.7	3.0	61.4			
2010	0.8	31.3	55.4	9.0	3.6	67.9			
2011	1.7	30.3	54.1	8.4	5.5	68.1			
2012	1.8	31.2	52.3	9.2	5.5	67.0			
2013	1.4	28.7	53.6	11.3	5.0	69.9			
2014	1.9	29.9	52.8	10.5	4.9	68.2			
2015	1.7	29.1	52.9	11.4	4.8	69.2			
2016	1.4	30.5	51.6	11.9	4.5	68.1			
2017	2.8	28.7	50.6	13.5	4.4	68.5			
2018	2.7	29.8	50.2	12.7	4.5	67.5			
2019	2.1	27.9	53.5	12.1	4.5	70.0			
2020	1.9	28.6	51.7	13.4	4.5	69.5			
2021	2.1	28.2	50.0	15.3	4.4	69.7			
2022	2.9	25.1	54.3	13.1	4.6	72.0			
2023	2.2	26.0	50.6	15.5	5.7	71.8			

II - 7 病棟50床当たり看護職員数・看護要員数（3交替病棟）

年 度	(人)		(人)						
	看護職員	看護要員	正職員	臨・パ	派遣等	小計	病棟数	病床数	
1991	19.1	21.3							
1992	19.6	21.9							
1993	20.5	22.8							
1994	22.7	25.2							
1995	21.6	23.9							
1996	22.6	24.7							
1997	23.3	25.5							
1998	23.2	25.3							
1999	22.9	25.2							
2000	23.1	25.1							
2001	22.8	25.1							
2002	23.6	25.8							
2003	23.4	25.8							
2004	24.0	26.3							
2005	23.7	26.0							
2006	24.8	27.1							
2007	26.3	28.7							
2008	26.6	29.0							
2009	27.5	29.7							
2010	29.5	32.5							
2011	30.1	33.9							
2012	29.5	33.5							
2013	31.2	35.5							
2014	33.0	37.5							
2015	32.7	37.4							
2016	33.3	38.2							
2017	33.3	37.8							
2018	33.0	38.0							
2019	33.9	38.8							
2020	33.4	38.4							
2021	33.1	38.2							
2022	33.8	39.1							
2023	34.1	39.2							

	正職員	臨・パ	派遣等	小計	病棟数	病床数
看護職員	37,555	1,435	120	39,110	1,377	57,332
看護職員以外	2,488	2,680	657	5,825		
			看護要員	44,935		

50床当たりの平均看護職員・看護要員 (人)

看護職員	34.1
看護要員	39.2

夜勤形態別50床当たりの看護職員・看護要員（3交替） (人)

	看護職員	看護要員
① 3交替（正循環）	31.2	36.2
② 3交替（正循環以外）	30.0	35.5

看護職員以外に占める雇用形態別の割合 (%)

看護職員以外の割合	12.96
看護職員の臨時・パート	3.67
看護職員の派遣等	0.31
看護職員以外の臨時・パート	46.01
看護職員以外の派遣等	11.28

Ⅱ - 8 看護要員に占める看護職員以外の割合 (3交替病棟)

年 度	割合 (%)
2001	9.0
2002	8.4
2003	9.2
2004	9.0
2005	8.7
2006	8.3
2007	8.5
2008	8.3
2009	7.5
2010	9.2
2011	11.3
2012	12.0
2013	12.1
2014	12.1
2015	12.5
2016	12.8
2017	12.0
2018	13.2
2019	12.4
2020	13.0
2021	13.2
2022	13.6
2023	13.0

Ⅱ - 9 看護職員に占める正職員以外の割合 (3交替病棟)

年 度	割合 (%)
2001	5.9
2002	5.8
2003	6.6
2004	2.7
2005	2.6
2006	2.3
2007	2.4
2008	3.1
2009	3.5
2010	3.5
2011	3.9
2012	4.3
2013	3.9
2014	4.5
2015	4.4
2016	4.2
2017	4.0
2018	4.2
2019	4.4
2020	4.0
2021	3.8
2022	3.5
2023	4.0

Ⅱ - 10 看護職員以外に占める正職員以外の割合 (3交替病棟)

年 度	割合 (%)
2001	44.1
2002	42.2
2003	43.7
2004	43.8
2005	43.8
2006	47.8
2007	47.9
2008	51.0
2009	53.9
2010	52.4
2011	59.5
2012	63.4
2013	65.5
2014	65.7
2015	61.6
2016	61.7
2017	61.0
2018	59.9
2019	61.3
2020	57.2
2021	58.3
2022	58.9
2023	57.3

Ⅱ - 11 組合性格別基本データ (3交替病棟)

	施設数	病棟数	病棟当たり ベッド数	50床当たり (人)		
				看護職員	看護職員以外	看護要員
全医労	84	477	42.5	34.2	4.6	38.9
全厚労	31	135	43.7	30.9	5.2	36.1
全日赤	5	40	27.7	50.3	3.6	53.9
全労災	19	165	43.2	35.7	3.8	39.5
国共病組	1	8	41.0	30.0	4.0	34.0
公的病院	4	21	43.7	34.8	5.2	40.0
自治体	28	180	41.4	35.1	4.7	39.8
大学	6	93	31.9	46.0	3.1	49.2
民医連・医療生協	56	206	41.8	31.5	7.8	39.4
地場一般病院	4	13	38.5	27.5	9.0	36.5
地場精神病院	6	30	57.1	17.9	6.6	24.5
合計/平均	247	1,377	41.6	34.1	5.1	39.2

(%)

	平均 夜勤日数	看護職員 以外	看護職員		看護職員以外	
			臨時パート	派遣等	臨時パート	派遣等
全医労	6.99	12.0	1.6		37.5	5.5
全厚労	8.10	14.4	4.7	0.2	27.4	12.7
全日赤	7.89	6.6	0.5	3.0	17.7	17.7
全労災	7.87	9.7	1.8	0.5	65.3	31.4
国共病組	8.02	11.7	3.6		80.8	19.2
公的病院	7.56	12.9	3.3	0.6	28.4	51.6
自治体	7.72	11.7	5.5		87.6	5.6
大学	8.30	6.4	0.1	0.3	52.2	30.6
民医連・医療生協	8.01	19.9	9.7	0.6	41.5	9.0
地場一般病院	7.15	24.7	12.4		23.3	21.1
地場精神病院	7.77	27.1	7.7	0.7	41.4	
合計/平均	7.75	13.0	3.7	0.3	46.0	11.3

Ⅲ - 1 夜勤回数別の人数と割合（2交替病棟）

年 度	(人)					年 度	(%)				
	3回以内	3.5~4回	4.5~5回	5.5回以上	計		3回以内	3.5~4回	4.5~5回	5.5回以上	4回以内
2005	1,044	1,473	623	199	3,339	2005	31.3	44.1	18.7	6.0	75.4
2006	1,261	2,138	902	227	4,528	2006	27.8	47.2	19.9	5.0	75.1
2007	1,453	2,864	1,115	199	5,631	2007	25.8	50.9	19.8	3.5	76.7
2008	2,753	3,807	2,187	754	9,501	2008	29.0	40.1	23.0	7.9	69.0
2009	2,771	4,361	2,099	605	9,836	2009	28.2	44.3	21.3	6.2	72.5
2010	4,139	6,284	4,106	1,135	15,664	2010	26.4	40.1	26.2	7.2	66.5
2011	3,828	5,603	2,978	1,165	13,574	2011	28.2	41.3	21.9	8.6	69.5
2012	5,324	7,687	4,153	1,738	18,902	2012	28.2	40.7	22.0	9.2	68.8
2013	5,508	8,279	5,091	2,242	21,120	2013	26.1	39.2	24.1	10.6	65.3
2014	6,179	8,698	4,880	1,817	21,574	2014	28.6	40.3	22.6	8.4	69.0
2015	6,461	9,423	5,321	2,535	23,740	2015	27.2	39.7	22.4	10.7	66.9
2016	8,294	11,588	6,832	3,209	29,923	2016	27.7	38.7	22.8	10.7	66.4
2017	7,506	10,222	5,696	2,567	25,991	2017	28.9	39.3	21.9	9.9	68.2
2018	6,571	9,356	5,952	2,849	24,728	2018	26.6	37.8	24.1	11.5	64.4
2019	7,103	9,929	5,831	2,589	25,452	2019	27.9	39.0	22.9	10.2	66.9
2020	7,641	11,064	6,953	3,369	29,027	2020	26.3	38.1	24.0	11.6	64.4
2021	7,026	9,537	7,236	3,863	27,662	2021	25.4	34.5	26.2	14.0	59.9
2022	6,989	9,316	6,831	3,234	26,370	2022	26.5	35.3	25.9	12.3	61.8
2023	7,543	9,642	7,228	3,938	28,351	2023	26.6	34.0	25.5	13.9	60.6

Ⅲ - 2 夜勤回数別の人数と割合（2交替病棟） 職場の区分別

	病棟数	(人)										合計	最多夜勤回数	夜勤専門
		2回迄	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回	5.5回	6回	6.5回以上			
ICU・CCU等	141	288	23	286	124	720	232	648	162	442	366	3,291	14.0	53
急性期一般	702	2,461	174	1,834	697	4,820	1,271	3,060	489	863	501	16,170	19.0	230
地域一般	47	115	16	159	85	335	84	133	22	43	28	1,020	10.0	16
地域包括ケア	60	107	10	138	48	322	58	176	38	45	58	1,000	18.0	25
回復期リハ	42	78	7	130	43	291	61	128	21	36	25	820	9.0	8
療養病棟	37	79	6	81	28	226	47	164	21	47	25	724	12.0	3
精神	33	52	6	101	32	160	31	74	11	16	6	489	9.5	6
その他	136	307	37	428	193	896	131	297	36	140	79	2,544	11.0	32
無回答	94	383	20	217	53	569	159	474	73	138	207	2,293	10.0	62
合計	1,292	3,870	299	3,374	1,303	8,339	2,074	5,154	873	1,770	1,295	28,351		

	2回迄	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回	5.5回	6回	6.5回以上	4.5回以上	(%)
ICU・CCU等	8.8	0.7	8.7	3.8	21.9	7.0	19.7	4.9	13.4	11.1	56.2	
急性期一般	15.2	1.1	11.3	4.3	29.8	7.9	18.9	3.0	5.3	3.1	38.2	
地域一般	11.3	1.6	15.6	8.3	32.8	8.2	13.0	2.2	4.2	2.7	30.4	
地域包括ケア	10.7	1.0	13.8	4.8	32.2	5.8	17.6	3.8	4.5	5.8	37.5	
回復期リハ	9.5	0.9	15.9	5.2	35.5	7.4	15.6	2.6	4.4	3.0	33.0	
療養病棟	10.9	0.8	11.2	3.9	31.2	6.5	22.7	2.9	6.5	3.5	42.0	
精神	10.6	1.2	20.7	6.5	32.7	6.3	15.1	2.2	3.3	1.2	28.2	
その他	12.1	1.5	16.8	7.6	35.2	5.1	11.7	1.4	5.5	3.1	26.8	
無回答	16.7	0.9	9.5	2.3	24.8	6.9	20.7	3.2	6.0	9.0	45.8	
合計	13.7	1.1	11.9	4.6	29.4	7.3	18.2	3.1	6.2	4.6	39.4	

Ⅲ - 3 夜勤回数別の割合（2交替病棟） 組合性格別

	病棟数	(%)				
		3回以内	3.5~4回	4.5~5回	5.5回以上	4回以内
全医労	455	30.7	44.7	20.6	3.9	75.4
全厚労	278	23.4	25.9	28.3	22.5	49.2
全日赤	131	27.0	26.6	33.7	12.7	53.6
全JCHO病院労組	11	45.2	17.6	26.6	10.6	62.8
全労災	3	25.0		25.0	50.0	25.0
国共病組	3	6.7		26.7	66.7	6.7
公的病院	8	46.2	36.3	16.5	1.1	82.4
自治体	70	20.3	34.0	30.6	15.1	54.3
大学	170	24.9	24.1	24.6	26.5	48.9
民医連・医療生協	106	20.7	37.8	28.0	13.5	58.5
地場一般病院	57	19.9	30.3	27.8	22.0	50.3
地場精神病院						
合計	1,292	26.6	34.0	25.5	13.9	60.6

Ⅲ - 4 平均夜勤回数（2交替病棟）

組合性格別

年度	平均(回)	組合	病棟数	夜勤人数(人)	平均回数(回)
2001	3.92	全医労	455	10,633	3.76
2002	3.97	全厚労	278	5,624	4.32
2003	3.78	全日赤	131	3,307	4.10
2004	3.81	全JCHO病院労組	11	188	3.61
2005	3.80	全労災	3	4	5.00
2006	3.87	国共病組	3	15	5.67
2007	3.86	公的病院	8	182	3.36
2008	3.91	自治体	70	1,484	4.25
2009	3.89	大学	170	4,213	4.36
2010	4.19	民医連・医療生協	106	1,567	4.21
2011	4.03	地場一般病院	57	1,134	4.41
2012	4.01	合計／平均	1,292	28,351	4.28
2013	4.10				
2014	4.07				
2015	4.09				
2016	4.04				
2017	4.01				
2018	4.12				
2019	4.09				
2020	4.11				
2021	4.14				
2022	4.14				
2023	4.28				

Ⅲ - 5 2交替16時間以上・16時間未満の夜勤回数

	2回迄	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回	5.5回	6回	6.5回以上	合計	平均夜勤回数
16時間以上	1,791	137	1,624	627	4,317	1,015	2,471	362	654	369	13,367	4.00
割合(%)	13.4	1.0	12.1	4.7	32.3	7.6	18.5	2.7	4.9	2.8	100.0	
16時間未満	1,711	120	1,484	506	3,215	859	2,429	470	1,064	826	12,684	4.19
割合(%)	13.5	0.9	11.7	4.0	25.3	6.8	19.2	3.7	8.4	6.5	100.0	

Ⅲ - 6 夜勤の体制（2交替病棟）

年度	夜勤人数						割合(%)
	1人	2人	3人	4人	5人以上	3人以上	
2005	3.1	63.2	24.5	6.1	3.1	33.7	
2006	2.3	50.5	40.2	5.1	1.9	47.2	
2007	2.9	41.6	42.8	8.2	4.5	55.6	
2008	2.1	41.5	40.0	7.5	9.0	56.4	
2009	7.5	34.3	43.2	12.6	2.4	58.2	
2010	4.6	26.6	47.3	16.2	5.3	68.8	
2011	7.6	25.0	48.9	9.2	9.2	67.4	
2012	12.1	29.5	43.9	12.1	2.3	58.3	
2013	7.1	18.7	55.1	12.1	7.1	74.2	
2014	5.7	16.8	49.9	22.5	5.0	77.5	
2015	3.8	14.0	49.1	24.6	8.4	82.1	
2016	2.6	14.0	48.5	26.2	8.8	83.5	
2017	2.5	15.8	50.8	25.6	5.3	81.6	
2018	2.4	16.0	53.4	23.0	5.2	81.6	
2019	3.1	15.1	49.8	23.4	8.7	81.9	
2020	1.3	14.6	55.2	21.6	7.2	84.0	
2021	1.1	15.3	48.2	26.7	8.7	83.6	
2022	2.6	15.6	51.2	23.0	7.6	81.8	
2023	2.2	13.7	50.7	24.9	8.4	84.1	

夜勤人数	病棟数	割合(%)
1人	25	2.2
2人	156	13.7
3人	578	50.7
4人	284	24.9
5人	48	4.2
6人	22	1.9
7人	10	0.9
8人	8	0.7
9人	1	0.1
10人以上	7	0.6
合計	1,139	100.0

Ⅲ - 7 病棟50床当たり看護職員数・看護要員数（2交替病棟）

(人)			(人)					
年度	看護職員	看護要員	正職員	臨・パ	派遣等	小計	病棟数	病床数
2001	19.3	24.2						
2002	18.4	24.1						
2003	18.9	25.0						
2004	18.5	25.4						
2005	18.3	25.2						
2006	21.0	26.5						
2007	24.6	28.5						
2008	24.4	28.5						
2009	25.3	29.1						
2010	26.5	31.7						
2011	27.5	32.9						
2012	29.8	35.3						
2013	31.6	36.4						
2014	34.1	39.3						
2015	34.7	39.9						
2016	35.2	40.3						
2017	35.0	39.8						
2018	34.0	38.8						
2019	34.9	39.7						
2020	36.4	41.2						
2021	36.9	41.6						
2022	36.7	41.9						
2023	37.5	42.9						

看護職員	36,114	1,113	98	37,325	1,292	49,744
看護職員以外	2,010	2,133	1,237	5,380		
			看護要員	42,705		

50床当たりの平均看護職員・看護要員 (人)

看護職員	37.5
看護要員	42.9

看護職員以外に占める雇用形態別の割合 (%)

看護職員以外の割合	12.60
看護職員の臨時・パート	2.98
看護職員の派遣等	0.26
看護職員以外の臨時・パート	39.65
看護職員以外の派遣等	22.99

Ⅲ - 8 看護要員に占める看護職員以外の割合（2交替病棟）

年度	割合(%)
2001	20.4
2002	23.7
2003	24.5
2004	27.1
2005	27.1
2006	20.9
2007	13.8
2008	14.4
2009	13.3
2010	16.6
2011	16.4
2012	15.3
2013	13.3
2014	13.2
2015	13.1
2016	12.7
2017	12.1
2018	12.4
2019	12.0
2020	11.9
2021	11.3
2022	12.2
2023	12.6

Ⅲ - 9 看護職員に占める正職員以外の割合（2交替病棟）

年度	割合(%)
2001	6.1
2002	5.8
2003	4.5
2004	3.7
2005	3.4
2006	3.6
2007	2.5
2008	2.9
2009	4.1
2010	5.0
2011	5.3
2012	4.9
2013	6.3
2014	5.1
2015	4.1
2016	4.0
2017	3.3
2018	3.4
2019	3.9
2020	3.8
2021	3.8
2022	3.5
2023	3.2

Ⅲ - 10 看護職員以外に占める正職員以外の割合（2交替病棟）

年度	割合(%)
2001	25.3
2002	26.2
2003	26.5
2004	20.1
2005	20.3
2006	28.6
2007	34.4
2008	32.6
2009	36.9
2010	38.1
2011	38.4
2012	40.7
2013	48.2
2014	55.8
2015	55.7
2016	52.2
2017	55.2
2018	53.2
2019	57.3
2020	57.3
2021	61.9
2022	62.2
2023	62.6

Ⅲ - 11 組合性格別基本データ（2交替病棟）

	施設数	病棟数	病棟当たり ベッド数	50床当たり (人)		
				看護職員	看護職員以外	看護要員
全医労	72	455	41.7	36.8	4.0	40.8
全厚労	47	278	40.1	33.5	5.8	39.3
全日赤	10	131	38.2	39.2	5.3	44.5
全JCHO病院労組	4	11	42.5	24.4	3.7	28.2
全労災	1	3	50.0	27.3	3.0	30.3
国共病組	1	3	39.7	26.1	6.7	32.8
公的病院	2	8	41.9	35.1	6.6	41.6
自治体	22	70	39.6	33.7	4.9	38.6
大学	7	170	28.1	57.6	8.0	65.6
民医連・医療生協	37	106	39.5	31.4	8.2	39.6
地場一般病院	6	57	31.9	37.6	6.2	43.8
合計／平均	209	1,292	38.5	37.5	5.4	42.9

(%)

	平均 夜勤日数	看護職員 以外	看護職員		看護職員以外	
			臨時パート	派遣等	臨時パート	派遣等
全医労	3.76	9.7	1.0		59.2	19.3
全厚労	4.32	14.8	5.3	0.2	30.7	14.2
全日赤	4.10	12.0	0.3	0.4	12.7	32.9
全JCHO病院労組	3.61	13.3	8.8		40.0	8.6
全労災	5.00	9.9	1.2	7.3		
国共病組	5.67	20.5	4.8		81.2	12.5
公的病院	3.36	15.8	0.9		31.8	36.4
自治体	4.25	12.6	6.9	0.3	79.6	6.3
大学	4.36	12.2	0.4	0.4	28.7	67.2
民医連・医療生協	4.21	20.7	11.1	1.3	37.4	5.0
地場一般病院	4.41	14.2	6.9	0.1	21.6	0.9
合計／平均	4.28	12.6	3.0	0.3	39.6	23.0

Ⅲ-12 夜勤形態別の病棟数・ベッド数・看護職員数・看護要員数・夜勤専門看護職員数

性格	病棟数	ベッド数	看護職員(人)				看護要員 (人)	夜勤専門看護師(人)		夜勤専門看護師の有無 (%は対病棟)	
			正職員	臨時・パート	派遣等	看護職員計		(%は対看護職員)	(%は対看護職員)		
① 3交替(正循環)	367	15,347	9,889	458	55	10,402	11,777	69	0.7	34	9.3
② 3交替(正循環以外)	769	32,210	20,763	652	32	21,447	24,977	127	0.6	86	11.2
①と②の合計	1,136	47,557				31,849	36,754	196		120	
割合	46.8	48.9				46.0	46.3	0.6		10.6	
③ 混合 (3交替・2交替)	241	9,775	6,903	325	33	7,261	8,181	115	1.6	61	25.3
割合(%)	9.9	10.0				10.5	10.3	1.6		25.3	
④ 2交替 (拘束16時間未満)	526	20,856	15,261	324	18	15,603	17,661	170	1.1	85	16.2
⑤ 2交替 (拘束16時間以上)	525	19,113	13,950	464	47	14,461	16,863	150	1.0	95	18.1
④と⑤の合計	1,051	39,969				30,064	34,524	320		180	
割合(%)	43.3	41.1				43.5	43.4	1.1		17.1	
合計／平均	2,428	97,301	66,766	2,223	185	69,174	79,459	631	0.9	361	14.9

IV - 1 3交替病棟と2交替病棟の割合

(%)

年 度	3交替	2交替
2001	92.6	7.4
2002	91.5	8.5
2003	91.7	8.3
2004	91.5	8.5
2005	91.7	8.3
2006	88.7	11.3
2007	87.5	12.5
2008	83.3	16.7
2009	82.4	17.6
2010	74.5	25.5
2011	76.3	23.7
2012	72.0	28.0
2013	70.6	29.4
2014	70.0	30.0
2015	67.9	32.1
2016	61.6	38.4
2017	62.8	37.2
2018	60.8	39.2
2019	60.7	39.3
2020	57.3	42.7
2021	56.0	44.0
2022	55.1	44.9
2023	51.6	48.4

IV - 2 3交替病棟と2交替病棟の割合 組合性格別

病棟数

(%)

	3交替	2交替	合計	3交替	2交替
全医労	477	455	932	51.2	48.8
全厚労	135	278	413	32.7	67.3
全日赤	40	131	171	23.4	76.6
全JCHO病院労組	4	11	15	26.7	73.3
全労災	165	3	168	98.2	1.8
国共病組	8	3	11	72.7	27.3
公共労	5		5	100.0	
公的病院	21	8	29	72.4	27.6
自治体	180	70	250	72.0	28.0
大学	93	170	263	35.4	64.6
民医連・医療生協	206	106	312	66.0	34.0
地場一般病院	13	57	70	18.6	81.4
地場精神病院	30		30	100.0	
合計／平均	1,377	1,292	2,669	51.6	48.4

IV - 3 3交替病棟と2交替病棟の割合 病床数による比較

病床数

(%)

病床数	3交替	2交替	合計	3交替	2交替
1～9床	91	92	183	49.7	50.3
10～19床	68	93	161	42.2	57.8
20～29床	59	72	131	45.0	55.0
30～39床	96	112	208	46.2	53.8
40～49床	417	409	826	50.5	49.5
50～59床	472	373	845	55.9	44.1
60～69床	122	71	193	63.2	36.8
70床以上	7	4	11	63.6	36.4

IV - 4 病棟50床当たり看護職員数・看護要員数の比較

看護職員

(人)

年 度	3 交替	2 交替
2001	23.6	19.3
2002	23.4	18.4
2003	24.0	18.9
2004	23.7	18.5
2005	24.8	18.3
2006	26.3	21.0
2007	26.6	24.6
2008	27.5	24.4
2009	29.5	25.3
2010	30.1	26.5
2011	30.1	27.5
2012	29.5	29.8
2013	31.2	31.6
2014	33.0	34.1
2015	32.7	34.7
2016	33.3	35.2
2017	33.3	35.0
2018	33.0	34.0
2019	33.9	34.9
2020	33.4	36.4
2021	33.1	36.9
2022	33.8	36.7
2023	34.1	37.5

看護要員

(人)

年 度	3 交替	2 交替
2001	25.1	24.2
2002	25.8	24.1
2003	25.8	25.0
2004	26.3	25.4
2005	26.0	25.2
2006	27.1	26.5
2007	28.7	28.5
2008	29.0	28.5
2009	29.7	29.1
2010	32.5	31.7
2011	33.9	32.9
2012	33.5	35.3
2013	35.5	36.4
2014	37.5	39.3
2015	37.4	39.9
2016	38.2	40.3
2017	37.8	39.8
2018	38.0	38.8
2019	38.8	39.7
2020	38.4	41.2
2021	38.2	41.6
2022	39.1	41.9
2023	39.2	42.9

IV - 5 3交替病棟と2交替病棟の施設

	施設数	病棟数			病棟数 割合 (%)
		3 交替	2 交替	混合	
3 交替制のみの施設 (夜勤の形態①・②)	126	769			37.6
2 交替制のみの施設 (夜勤の形態④・⑤)	88		640		26.3
混合施設 (夜勤の形態①～⑤の混合)	121	367	411	241	36.1
合計	335	1,136	1,051	241	

IV - 6 3交替・2交替別職場の区分(病棟)

	病棟数			
	3 交替	2 交替	3 交替 (%)	2 交替 (%)
ICU・CCU等	138	141	10.0	10.9
急性期一般	644	702	46.8	54.3
地域一般	57	47	4.1	3.6
地域包括ケア	63	60	4.6	4.6
回復期リハ	30	42	2.2	3.3
療養病棟	54	37	3.9	2.9
精神	120	33	8.7	2.6
その他	196	136	14.2	10.5
無回答	75	94	5.4	7.3
合計	1,377	1,292	100.0	100.0

IV - 7 夜勤体制別病床数による夜勤配置人数

準夜

病床数	夜勤配置人数				割合(%)			
	1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上
1～9床	13	32	31	11	14.9	36.8	35.6	12.6
10～19床	2	19	24	22	3.0	28.4	35.8	32.8
20～29床		27	16	13		48.2	28.6	23.2
30～39床	2	29	44	19	2.1	30.9	46.8	20.2
40～49床	5	80	208	93	1.3	20.7	53.9	24.1
50～59床	5	70	250	125	1.1	15.6	55.6	27.8
60～69床		23	50	44		19.7	42.7	37.6
70床以上	1	2	1	3	14.3	28.6	14.3	42.9

深夜

病床数	夜勤配置人数				割合(%)			
	1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上
1～9床	13	33	30	10	15.1	38.4	34.9	11.6
10～19床	2	18	25	22	3.0	26.9	37.3	32.8
20～29床		28	14	14		50.0	25.0	25.0
30～39床	2	31	40	21	2.1	33.0	42.6	22.3
40～49床	5	86	222	72	1.3	22.3	57.7	18.7
50～59床	2	94	260	87	0.5	21.2	58.7	19.6
60～69床		33	50	34		28.2	42.7	29.1
70床以上	1	2	1	3	14.3	28.6	14.3	42.9

2交替

病床数	夜勤配置人数				割合(%)			
	1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上
1～9床	11	28	26	18	13.3	33.7	31.3	21.7
10～19床	1	27	18	32	1.3	34.6	23.1	41.0
20～29床		14	24	23		23.0	39.3	37.7
30～39床		17	59	26		16.7	57.8	25.5
40～49床	2	38	214	102	0.6	10.7	60.1	28.7
50～59床	8	23	169	128	2.4	7.0	51.5	39.0
60～69床		2	40	20		3.2	64.5	32.3
70床以上			4				100.0	

V - 1 外来の夜勤職場数と形態

(人)

夜勤形態	職場数	割合(%)	看護要員	看護職員				看護職員以外				夜勤要員	夜勤看護要員以外
				正職員	臨・パ	派遣等	合計	正職員	臨・パ	派遣等	合計		
① 3交替 (正循環)	6	4.7	211	168	34		202		9		9	143	2
② 3交替 (正循環以外)	16	12.5	775	545	169		714		54	7	61	264	
③ 混合 (3交替・2交替)	10	7.8	310	220	58		278	6	25	1	32	148	7
④ 2交替 (拘束16時間未満)	23	18.0	1,149	716	288		1,004	15	124	6	145	424	21
⑤ 2交替 (拘束16時間以上)	29	22.7	1,269	709	371	4	1,084	84	70	31	185	454	
⑥ 当直・2交替	8	6.2	411	204	137		341		38	32	70	122	
⑦ 当直	36	28.1	1,058	595	349	3	947	55	51	5	111	349	
合計	128	100.0	5,183	3,157	1,406	7	4,570	160	371	82	613	1,904	30

(%)

夜勤形態	A	B	C	D	E	F
① 3交替 (正循環)	95.7	4.3	16.8	100.0	70.8	22.2
② 3交替 (正循環以外)	92.1	7.9	23.7	100.0	37.0	
③ 混合 (3交替・2交替)	89.7	10.3	20.9	81.2	53.2	21.9
④ 2交替 (拘束16時間未満)	87.4	12.6	28.7	89.7	42.2	14.5
⑤ 2交替 (拘束16時間以上)	85.4	14.6	34.6	54.6	41.9	
⑥ 当直・2交替	83.0	17.0	40.2	100.0	35.8	
⑦ 当直	89.5	10.5	37.2	50.5	36.9	
平均	88.2	11.8	30.9	73.9	41.7	4.9

- A : 看護要員に占める看護職員の割合
- B : 看護要員に占める看護職員以外の割合
- C : 看護職員に占める臨時・パートおよび派遣等の割合
- D : 看護職員以外に占める臨時・パートおよび派遣等の割合
- E : 看護職員に占める夜勤に入った人の割合
- F : 看護職員以外に占める夜勤に入った人の割合

V - 2 外来夜勤日数別の人数と割合

① 3交替 (正循環)

日数	人数	割合(%)
6日以内	33	22.6
7日	14	9.6
8日	38	26.0
9日	28	19.2
10日以上	33	22.6
8日以内	85	58.2
合計	146	100.0

② 3交替 (正循環以外)

日数	人数	割合(%)
6日以内	116	39.1
7日	51	17.2
8日	61	20.5
9日	28	9.4
10日以上	41	13.8
8日以内	228	76.8
合計	297	100.0

③ 混合 (3交替・2交替)

日数	人数	割合(%)	回数	人数	割合(%)
6日以内	59	47.6	3回以内	19	42.2
7日	14	11.3	3.5~4回	22	48.9
8日	21	16.9	4.5~5回	4	8.9
9日	4	3.2	5.5回以上		
10日以上	26	21.0	4回以内	41	91.1
8日以内	94	75.8	合計	45	100.0
合計	124	100.0			

④ 2交替 (拘束16時間未満)

回数	人数	割合(%)
3回以内	252	54.7
3.5~4回	138	29.9
4.5~5回	29	6.3
5.5回以上	42	9.1
4回以内	390	84.6
合計	461	100.0

⑤ 2交替 (拘束16時間以上)

回数	人数	割合(%)
3回以内	194	50.5
3.5~4回	123	32.0
4.5~5回	41	10.7
5.5回以上	26	6.8
4回以内	317	82.6
合計	384	100.0

⑥ 当直・2交替

回数	人数	割合(%)
3回以内	119	82.6
3.5~4回	20	13.9
4.5~5回	4	2.8
5.5回以上	1	0.7
4回以内	139	96.5
合計	144	100.0

⑦ 当直

回数	人数	割合(%)
3回以内	375	87.4
3.5~4回	32	7.5
4.5~5回	11	2.6
5.5回以上	11	2.6
4回以内	407	94.9
合計	429	100.0

V - 3 外来平均夜勤日数

夜勤形態	職場数	夜勤人数(人)	平均回数(回)
① 3交替 (正循環)	6	146	7.87
② 3交替 (正循環以外)	16	297	6.88
③ 混合 (3交替・2交替)	10	169	6.03
④ 2交替 (拘束16時間未満)	23	384	3.44
⑤ 2交替 (拘束16時間以上)	29	461	3.36
⑥ 当直・2交替	8	144	2.90
⑦ 当直	36	429	4.22

V - 4 外来夜勤の人数

3交替制 準夜	準夜勤務人数					合計
	1人	2人	3人	4人	5人以上	
	7	11	3	5	4	
	23.3%	36.7%	10.0%	16.7%	13.3%	

3交替制 深夜	深夜勤務人数					合計
	1人	2人	3人	4人	5人以上	
	12	9	4	5		
	40.0%	30.0%	13.3%	16.7%		

2交替制 夜勤	夜勤人数					合計
	1人	2人	3人	4人	5人以上	
	21	29	5	1	2	
	36.2%	50.0%	8.6%	1.7%	3.4%	

当直制	当直人数					合計
	1人	2人	3人	4人	5人以上	
	30	4	2	1	1	
	78.9%	10.5%	5.3%	2.6%	2.6%	

V - 5 手術室の夜勤形態

夜勤形態	職場数	割合(%)
① 3交替 (正循環)	2	4.9
② 3交替 (正循環以外)	1	2.4
③ 混合 (3交替・2交替)	4	9.8
④ 2交替 (拘束16時間未満)	10	24.4
⑤ 2交替 (拘束16時間以上)	13	31.7
⑥ 当直・2交替	1	2.4
⑦ 当直	10	24.4
合計	41	100.0

V - 6 透析室の夜勤形態

夜勤形態	職場数	割合(%)
① 3交替 (正循環)		
② 3交替 (正循環以外)		
③ 混合 (3交替・2交替)		
④ 2交替 (拘束16時間未満)		
⑤ 2交替 (拘束16時間以上)		
⑥ 当直・2交替	1	33.3
⑦ 当直	2	66.7
合計	3	100.0

VI - 1 許可病床数・稼働病床数（基礎項目）

	99床以下	100～199	200～299	300～399	400～499	500～599	600～699	700～799	800～899	900床以上	全施設平均
許可病床数	35	60	51	71	57	14	14	7	3	7	337
稼働病床数	39	62	58	40	38	11	13	2	1	8	316

組合性格別稼働病床数の割合

	施設数	平均 許可病床数	平均 稼働病床数	99床 以下	100～ 199	200～ 299	300～ 399	400～ 499	500～ 599	600～ 699	700～ 799	800床 以上
全医労	76	365	339	4	8	21	17	14	7	5		
全厚労	50	284	256	7	11	17	5	8		1	1	
全日赤	9	465	444		2		2	1	1	2		1
全JCHO病院労組	4	201	154	2	1		1					
全労災	17	536	530		3	1	3	7		2		1
国共病組												
公的病院	3	282	265		1	1		1				
自治体	30	268	242	7	5	7	5	3	2	1		
大学	9	953	902						1	1	1	6
民医連・医療生協	61	172	229	18	27	6	7	2				1
地場一般病院	8	360	251	1	3	3				1		
地場精神病院	4	347	344		1	1		2				

VI - 2 職場の区分（基礎項目）

組合性格別

	ICU・ CCU等	急性期 一般	地域一般	地域包括 ケア	回復期 リハ	療養病棟	精神	その他	無回答
全医労	83	361	58	18	7	27	71	203	11
全厚労	43	221	15	30	12	14	12	20	6
全日赤	18	86		5		2	3	16	30
全JCHO病院労組	1	5	1	2		2		1	1
全労災	19	128	3	9				5	1
国共病組		7		1	1			2	
公共労		5							
公的病院	4	16		3	3			1	
自治体	23	133	9	8	4	6	12	4	28
大学	46	148	1				10	9	25
民医連・医療生協	18	81	9	33	34	25	11	30	40
地場一般病院	4	33	1	1	4	5	3	10	3
地場精神病院		3				4	22	1	
合計	259	1,227	97	110	65	85	144	299	145
割合（記載なしを除く）	11.3%	53.7%	4.2%	4.8%	2.8%	3.7%	6.3%	13.1%	

VI - 3 シフトの数

夜勤の形態	最大シフト数	最少シフト数	平均(回)
① 3交替 (正循環)	9	3	3.87
② 3交替 (正循環以外)	13	3	4.43
③ 混合 (3交替・2交替)	25	3	5.83
④ 2交替 (拘束16時間未満)	16	2	4.66
⑤ 2交替 (拘束16時間以上)	9	1	3.44
⑥ 当直・2交替	3	2	2.38
⑦ 当直	5	1	3.00

形態毎の回数

(個)

夜勤の形態／シフトの数	2	3	4	5	6	7	8	9	10個以上
① 3交替 (正循環)	0	187	42	71	18	6	2	2	0
② 3交替 (正循環以外)	0	226	119	194	44	26	4	4	10
③ 混合 (3交替・2交替)	0	20	28	67	34	19	8	12	7
④ 2交替 (拘束16時間未満)	17	132	101	82	65	19	17	7	7
⑤ 2交替 (拘束16時間以上)	139	128	187	58	15	3	1	1	0
⑥ 当直・2交替	5	3	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 当直	5	10	5	1	0	0	0	0	0

形態毎の割合

(%)

夜勤の形態／シフトの数	2	3	4	5	6	7	8	9	10個以上
① 3交替 (正循環)	0.0	57.0	12.8	21.6	5.5	1.8	0.6	0.6	0.0
② 3交替 (正循環以外)	0.0	36.0	19.0	30.9	7.0	4.1	0.6	0.6	1.6
③ 混合 (3交替・2交替)	0.0	10.3	14.4	34.4	17.4	9.7	4.1	6.2	3.6
④ 2交替 (拘束16時間未満)	3.8	29.5	22.6	18.3	14.5	4.3	3.8	1.6	1.6
⑤ 2交替 (拘束16時間以上)	26.1	24.1	35.2	10.9	2.8	0.6	0.2	0.2	0.0
⑥ 当直・2交替	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦ 当直	23.8	47.6	23.8	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

VI - 4 夜勤協定の有無 (基礎項目)

	有	無	無回答	有の割合 (%)
全医労	45	46	12	43.7
全厚労	46	13	3	74.2
全日赤	6	4	1	54.5
全JCHO病院労組	1	3		25.0
全労災	17	2		89.5
国共病組			1	
公的病院	1	2	1	25.0
自治体	18	15	6	46.2
大学	3	5	1	33.3
民医連・医療生協	56	6	4	84.8
地場一般病院	3	3	2	37.5
地場精神病院	5	1		83.3
合計	201	101	31	
割合 (%)	66.6	33.4		

VI - 5 夜勤協定の日数（基礎項目）

	3 交替				2 交替			
	8 日以内	9 日以内	10 日以内	11 日以上	4 回以内	5 回以内	6 回以内	7 回以上
全医労	37	1			23			2
全厚労	29	6			25	6	1	
全日赤	2	1	1		1	1		
全JCHO病院労組	1				1			
全労災	16				1			
国共病組								
公共労								
公的病院	1							
自治体	12	2	2		1	4		
大学	2	1					1	
民医連・医療生協	39	6	3		20	9		1
地場一般病院	3							
地場精神病院	3	2						
合計	145	19	6		72	20	2	3

VI - 6 職員総数と病院100床当たり人数（基礎項目）

	施設数	病床数	看護職員	看護職員以外	(人)		病院100床当たり人数		構成比	
					看護職員	看護職員以外	看護職員	看護職員以外	看護職員	看護職員以外
					(%)	(%)	(%)	(%)		
全医労	103	25,798	30,861	7,803	119.6	30.2	50.6	12.8		
全厚労	62	12,776	15,047	3,072	117.8	24.0	54.9	11.2		
全日赤	11	3,994	4,713	1,503	118.0	37.6	47.9	15.3		
全JCHO病院労組	4	618	658	47	106.5	7.6	71.9	5.1		
全労災	19	9,002	7,119	2,130	79.1	23.7	53.6	16.0		
国共病組	1		215				55.1			
公共労	1	238	253	186	106.3	78.2	42.6	31.3		
公的病院	4	795	1,441	561	181.3	70.6	48.4	18.9		
自治体	39	7,248	10,140	3,756	139.9	51.8	51.2	19.0		
大学	9	8,116	9,854	955	121.4	11.8	55.5	5.4		
民医連・医療生協	68	13,965	9,400	3,432	67.3	24.6	49.4	18.0		
地場一般病院	8	2,006	2,093	420	104.3	20.9	55.7	11.2		
地場精神病院	6	1,377	649	411	47.1	29.8	38.9	24.6		
合計	335	85,933	92,443	24,276	107.6	28.2	51.8	13.6		

(平均)

VI - 7 看護職員の妊産婦数・休業者数等（基礎項目）

	総数	看護職員	看護職員以外	看護要員	夜勤に入った人数
		人数	人数	人数	人数
総数人員 (人)	総数	92,442	24,276	116,718	61,737
	妊娠者数	1,260	100	1,360	267
	産休者数	996	92	1,088	
	育休者数	3,530	292	3,822	
	育児短時間取得数	3,892	234	4,126	759
	介護休業取得数	48	2	50	
	長期の病欠者数	868	152	1,020	
との割合 (%)	妊娠者数	1.4	0.4	1.2	0.4
	産休者数	1.1	0.4	0.9	
	育休者数	3.8	1.2	3.3	
	育児短時間取得数	4.2	1.0	3.5	1.2
	介護休業取得数	0.1	0.0	0.0	
	長期の病欠者数	0.9	0.6	0.9	

VI - 8 最も短い勤務間隔
(基礎項目)

	施設数	割合 (%)
8 時間未満	104	40.6
8 時間以上12時間未満	44	17.2
12時間以上16時間未満	101	39.5
16時間以上	7	2.7

VI - 9 勤務間隔は12時間以上あるか
(基礎項目)

	施設数	割合 (%)
有	108	42.2
無	148	57.8

VI - 10 インターバル協定の有無
(基礎項目)

	施設数	割合 (%)
有	46	16.6
無	231	83.4

VI - 11 インターバル協定の勤務間隔
(基礎項目)

	施設数	割合 (%)
8 時間未満	1	2.3
8 時間以上12時間未満	19	44.2
12時間以上16時間未満	17	39.5
16時間以上	6	14.0

VI - 12 インターバル協定の勤務間隔の組合性格別 (基礎項目)

	施設数	8 時間未満	8 時間以上 12時間未満	12時間以上 16時間未満	16時間以上
全医労	8	1	6	1	
全厚労	10		9		1
全日赤	1		1		
全JCHO病院労組	1			1	
全労災	1			1	
国共病組					
公共労					
公的病院					
自治体	2		1		1
大学					
民医連・医療生協	22		4	14	4
地場一般病院	1			1	
地場精神病院					

2023年度夜勤実態調査表 6月実績【医療機関用】

※夜勤実態調査している職場のみ記入して下さい。回答必須項目は左下「注意事項2」をご参照ください。
 ※「看護職員」には、「保健師・助産師・看護士」を含ませた数を記入してください。

職場名 (診療科)	職場の単 区区分 ※A	職場の職 区区分 ※B	職場構造数 (師長等も下記に含めて記入)		夜勤(単 形態 記号 ※C)	夜勤回数別の人数(教値のみ)												最 多 夜 勤 日 数 ※D	シ フ ト の 数 ※E
			正 規 員	正 規 員 以 外 (ク ラ ク 等)		4日迄	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日以上	下項目に 記入した 場合のみ 記載回数 を記入			
例)3A 外科	①	⑤	看護職員		①⑤	3交替													
	②	⑥	看護職員以外 (クランク含む)		②	3交替													
	③	⑦	看護職員		③	2交替	2回	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回	5.5回	6回	6.5回以上			
	④	⑧	看護職員以外 (クランク含む)		④	2交替													
病	①	⑤	看護職員		①⑤	3交替													
	②	⑥	看護職員以外 (クランク含む)		②	3交替													
	③	⑦	看護職員		③	2交替	2回	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回	5.5回	6回	6.5回以上			
	④	⑧	看護職員以外 (クランク含む)		④	2交替													
棟	①	⑤	看護職員		①⑤	3交替													
	②	⑥	看護職員以外 (クランク含む)		②	3交替													
	③	⑦	看護職員		③	2交替	2回	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回	5.5回	6回	6.5回以上			
	④	⑧	看護職員以外 (クランク含む)		④	2交替													
7	①	⑤	看護職員		①⑤	3交替													
	②	⑥	看護職員以外 (クランク含む)		②	3交替													
	③	⑦	看護職員		③	2交替	2回	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回	5.5回	6回	6.5回以上			
	④	⑧	看護職員以外 (クランク含む)		④	2交替													
8	①	⑤	看護職員		①⑤	3交替													
	②	⑥	看護職員以外 (クランク含む)		②	3交替													
	③	⑦	看護職員		③	2交替	2回	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回	5.5回	6回	6.5回以上			
	④	⑧	看護職員以外 (クランク含む)		④	2交替													
外 来 (24時間対応のみ)	①	⑤	看護職員		①⑤	3交替													
	②	⑥	看護職員以外 (クランク含む)		②	3交替													
	③	⑦	看護職員		③	2交替	2回	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回	5.5回	6回	6.5回以上			
	④	⑧	看護職員以外 (クランク含む)		④	2交替													
手 術 室 (24時間対応のみ)	①	⑤	看護職員		①⑤	3交替													
	②	⑥	看護職員以外 (クランク含む)		②	3交替													
	③	⑦	看護職員		③	2交替	2回	2.5回	3回	3.5回	4回	4.5回	5回	5.5回	6回	6.5回以上			
	④	⑧	看護職員以外 (クランク含む)		④	2交替													

*A 職種の区分 ①~⑧から「1つ」選択 *B 夜勤の形態 ①~⑧から「1つ」選択 *C 夜勤体制(夜勤人数)
 ①ICU・CCU等 ②急性期一般 ③3交替(正循環) ④地域一般 ⑤2交替(夜勤時間16時間未満)※ ⑥2交替(夜勤時間16時間以上)※ ⑦当直 ⑧当直+2交替 ※当直業務規則の夜勤開始から終了までの時間
 *D 最多数夜勤日数・回数 ①19日以上または「6.5回以上」の夜勤に入った人の最も多い夜勤回数。例:16日の場合、「16」と記入
 *E シフトの数 ①シフト全体のシフト数(夜勤)を記入。例:3交替制で「日勤・夜勤・深夜」のみならず、「日勤・昼番・夜勤・深夜」がある場合は「日勤・昼番・夜勤・深夜」の4で記入
 *F シフトの数 ①シフト全体のシフト数(夜勤)を記入。例:3交替制で「日勤・夜勤・深夜」のみならず、「日勤・昼番・夜勤・深夜」がある場合は「日勤・昼番・夜勤・深夜」の4で記入

夜勤実態調査-基礎項目

未記入の無いようお願いします。

施設名 _____

記入者 _____ (内線)

連絡先/TEL _____

許可病床数 _____ 床 _____

稼働病床数 _____ 床 _____

夜勤協定の状況(いずれかに○印) 者の場合は回数を記入
 夜勤協定締結 有 無 3交 替 _____ 回以
 インターバル協定 有 無 勤務間隔 _____ 時間以上
 最も短い勤務間隔(例えば日勤-深夜) _____ 分

勤務者数(非正規含む)、妊産婦、休業者等

看護職員数 (クランク含む)	夜勤に入った人数
看護職員以外 (クランク含む)	
妊産婦数	
産休者数	
育児者数	
育児短時間	
介護職員	
長期病欠者数	

記入にあたっての注意事項

1. 調査対象は、24時間の対応を行っている医療機関(重症・筋ジストロフィー)です。

特別養護老人ホーム、老人福祉施設、グループホーム等の介護施設は、「介護施設用」の夜勤実態調査に記入してください。

2. 下記の設問は、回答必須項目です。未記入時、集計に反映できない場合があります。

「職場の区分」「ベッド数」「稼働病床数」「夜勤に入った人数」「夜勤の形態」「夜勤体制」「夜勤回数別の人数」

3. 調査票は1施設1枚送付です。用紙の不足分は調査票をコピーしてご記入ください。

4. 独自フォームは送付せず。本調査用紙にご記入ください。

締切りと調査の活用について

締切: 2023年8月31日

日本医労連 必着

〒110-0013 東京都台東区入谷9-9-5
 日本医労連労働組合3階 日本医労連

◇郵送かFAX(03-3875-8270)で提出をお願いします。
 ◇全国組合本部、医労連にコピー送付をお願いします。